

# 九州大学概要

## 資料編

2007年度



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY

## 九州大学教育憲章

### 第1条(趣旨)

九州大学は、日本国民のみならず、世界中の人々からも支持される高等教育を一層推進するために、この教育憲章を定めることとする。

### 第2条(教育の目的)

九州大学の教育は、日本の様々な分野において指導的な役割を果たし、アジアをはじめ広く全世界で活躍する人材を輩出し、日本及び世界の発展に貢献することを目的とする。

### 第3条(人間性の原則)

九州大学の教育は、秀でた人間性を有する人材を育成し、上記の目的を達成するために、次のことを指向することとする。

- (a)人間の尊厳を守り、生命を尊重すること。
- (b)人格、才能並びに精神的及び肉体的な能力を発達させること。
- (c)真理と正義を愛し、個性豊かな文化的創造をめざすこと。
- (d)自然環境を守り、次世代に譲り渡すこと。

### 第4条(社会性の原則)

九州大学の教育は、秀でた社会性を有する人材を育成し、上記の目的を達成するために、次のことを指向することとする。

- (a)自由な社会に積極的に参加し、勤労を尊び、責任ある生活を送ること。
- (b)基本的人権を尊重すること。
- (c)両性の平等を尊重すること。
- (d)必要な政治的教養を含む市民的公共性を育成すること。

### 第5条(国際性の原則)

九州大学の教育は、秀でた国際性を有する人材を育成し、上記の目的を達成するために、次のことを指向することとする。

- (a)アジアをはじめ全世界の人々の文化的、社会的、経済的発展に寄与すること。
- (b)種族的、国民的及び宗教的集団の間の理解、寛容及び友好を促進すること。
- (c)世界の平和に貢献し、将来の世代を戦争の惨害から守ること。
- (d)国際連合憲章の謳う原則を尊重すること。

### 第6条(専門性の原則)

九州大学の教育は、秀でた専門性を有する人材を育成し、上記の目的を達成するために、次のことを指向することとする。

- (a)人間性の原則、社会性の原則及び国際性の原則並びに実際の生活に即して、専門性を深化、発展させること。
- (b)科学技術の発達と学術文化の振興を融合させること。
- (c)独創性、創造性を重視すること。
- (d)専門家としての職業倫理を育成すること。
- (e)学問の自由及び専門家の自律性を尊重すること。

### 第7条(一体性の原則及び職責の遂行等)

- 1.九州大学は、全学一体となって、上記の教育目的及び原則の達成に取り組むこととする。九州大学の教職員及び学生は自己の使命を自覚し、その職責等の遂行に努めなければならない。
- 2.前項の職責を遂行するために、教育研究組織の自治及び構成員の身分は尊重されなければならない。

## 九州大学学術憲章

### 第1条(趣旨)

九州大学は、より善き知の探求と創造・展開の拠点として、人類と社会に真に貢献し得る研究活動を促進してゆくために、この学術憲章を定めることとする。

### 第2条(研究の使命)

- (1)九州大学は最高学府として、人類が長きにわたって遂行してきた真理探求の道とそこに結実した古典的・人間的叡知とを尊び、これを将来に伝えてゆくことを使命とする。
- (2)九州大学はまた、諸々の学問における伝統を基盤として新しい展望を開き、世界に誇り得る先進的な知的成果を産み出してゆくことを使命とする。

### 第3条(研究の理念と倫理性)

- (1)九州大学は、伝統に学びそこにある知的探求を尊びつつ、現代に生きる我々に相応しい知の深化と発展とを指向する。
- (2)九州大学は、創造的かつ独創的な学術研究を重視し、学問の自由および研究者の自律性を尊重する。
- (3)九州大学はさらに、人間的叡知と科学的知識との調和に努めつつ、諸々の知の実践的価値を追求してゆく。
- (4)九州大学は、科学が自然環境と人類の生存とに重大な影響を与えることをつねに顧慮し、自らの良心と良識とに従って、社会の信頼に応え得る研究活動の遂行に努める。

### 第4条(研究の社会的・国際的貢献)

- (1)九州大学は、大学の理念としての真理探求の精神を堅持すると共に、その研究活動を通じて、長期的な視野のもと、人類の福祉と文化の発展、ならびに世界の平和に貢献してゆくべく努める。
- (2)九州大学の研究はまた、普遍性と汎用性を目指して広く社会の要請に応え、かつその立地する地域社会に貢献するものとなるよう努める。
- (3)九州大学は、開かれた大学としてその研究成果を学外に開示し、さらには活発な情報発信や人的交流、諸研究機関や産業界との連携に努めながら、学術研究の国際的拠点となることを目指す。

### 第5条(研究と教育の融合)

九州大学は、世界的に活躍し得る人材を育成し輩出する使命を有しており、研究と教育との機能を調和・融合させながら、人類の未来を託すに足る人材の養成を目指す。

### 第6条(一体性と職責の遂行)

九州大学は、教職員と学生とが一体となって、上記の事柄の達成に取り組むこととする。九州大学の教職員と学生は自己の使命をよく自覚し、それぞれの責任の遂行に努めなければならない。

# ■学年曆

4月1日

前学期開始

4月1日～10日※

春季休業

4月5日

学部入学式

4月10日※

大学院入学式

5月11日

開学記念日

8月1日～9月30日※

夏季休業

9月30日

前学期終了

10月1日

後学期開始

12月26日～1月7日※

冬季休業

3月25日

学位記授与式

3月31日

後学期終了

注)※印の日程は、標準日(期間)を示したもので、  
学府・学部等で異なることがある。

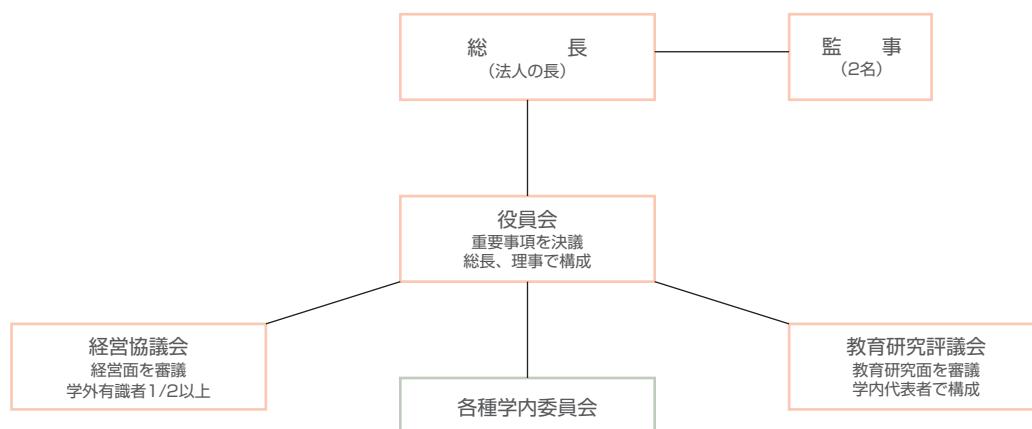
# 目次

歴代総長／運営組織	2
役員等／経営協議会委員	3
教育研究評議会評議員	4
沿革	5
学府・研究院制度について	9
大学の組織	10
部局長等	12
教育研究組織	14
[学部]学科・科目・(講座), [学部]21世紀プログラム	14
[学府]専攻・講座	14
[研究院]部門・講座	16
[附置研究所等]研究部門	18
[附属図書館]利用状況・蔵書数	18
[医学部・歯学部・生体防御医学研究所附属病院(呼称:九州大学病院)]診療科・病床数・患者数	19
学内共同教育研究施設等	20
機構／推進室等	21
学生定員及び在籍学生数	22
学部	22
大学院	22
入学状況	24
学部	24
大学院	24
学位取得者数等	26
学部	26
大学院	26
医療技術短期大学部	27
学部卒業・大学院修了後の状況	28
教職員等	29
役員数／職員数	29
研究員等／外国人教師等	31
社会との連携	31
共同研究／受託研究	31
公開講座	32
寄附講座・寄附研究部門	32
社会連携事業	33
国際交流	34
交流協定締結大学等	34
出身国別外国人留学生数	38
学生の海外留学状況等	39
収入・支出	40
平成18年度収入・支出予算	40
科学研究費補助金／寄附金収入／産学連携等研究収入	40
土地・建物	41
伊都キャンパス	42
建物配置図及び部局所在地	44
諸施設	51
案内図	54

## ■歴代総長

在任期間	氏名	ふりがな
明治44年 4月 1日～大正 2年 5月 9日	理学博士 山川 健次郎	やまかわ けんじろう
大正 2年 5月 9日～大正15年 3月19日	工学博士 真野 文二	まの ぶんじ
大正15年 3月19日～昭和 4年 9月12日	農学博士 大工原 銀太郎	だいくはら ぎんたろう
昭和 4年 9月12日～昭和 4年10月 9日	医学博士 後藤 七郎 (事務取扱)	ごとう しちろう
昭和 4年11月 9日～昭和11年 7月 4日	松浦 鎮次郎	まつうら しげじろう
昭和11年 7月 4日～昭和11年11月18日	医学博士 高山 正雄	たかやま まさお
昭和11年11月18日～昭和20年 3月 1日	工学博士 荒川 文六	あらかわ ぶんろく
昭和20年 3月 1日～昭和20年10月16日	百武 源吾	ひゃくたけ げんご
昭和20年10月16日～昭和20年11月30日	理学博士 西久光 (事務取扱)	にし ひさみつ
昭和20年11月30日～昭和24年11月29日	農学博士 奥田 謙	おくだ ゆずる
昭和24年11月30日～昭和28年11月29日	法学博士 菊池 勇夫	きくち いさお
昭和28年11月30日～昭和36年11月29日	工学博士 山田 穣	やまだ みのる
昭和36年11月30日～昭和42年11月29日	医学博士 遠城寺 宗徳	えんじょうじ むねのり
昭和42年11月30日～昭和44年 1月31日	工学博士 水野 高明	みずの たかあき
昭和44年 1月31日～昭和44年 5月24日	原俊之 (事務取扱)	はら としゆき
昭和44年 5月24日～昭和44年 8月14日	医学博士 問田 直幹 (〃)	といだ なおき
昭和44年 8月14日～昭和44年11月 7日	谷口 鉄雄 (〃)	たにぐち てつお
昭和44年11月 7日～昭和45年11月 6日	医学博士 入江 英雄	いりえ ひでお
昭和45年11月 7日～昭和50年11月 6日	医学博士 池田 數好	いけだ かずよし
昭和50年11月 7日～昭和53年11月 6日	医学博士 武谷 健二	たけや けんじ
昭和53年11月 7日～昭和56年11月 6日	理学博士 神田 慶也	かんだ よしや
昭和56年11月 7日～昭和61年 9月30日	医学博士 田中 健藏	たなか けんぞう
昭和61年10月 1日～昭和61年11月 6日	医学博士 山元 寅男 (事務取扱)	やまもと とらお
昭和61年11月 7日～平成 3年11月 6日	理学博士 高橋 良平	たかはし りょうへい
平成 3年11月 7日～平成 7年11月 6日	農学博士 和田 光史	わだ こうじ
平成 7年11月 7日～平成13年11月 6日	医学博士 杉岡 洋一	すぎおか よういち
平成13年11月 7日～ 現在	工学博士 梶山 千里	かじやま ちさと

## ■国立大学法人九州大学の運営組織



## ■役員等

区分	主な任務	氏名
役 員	総長	梶山千里
	理事(副学長)	有川節夫
	理事(副学長)	柴田洋三郎
	理事(副学長)	小寺山亘
	理事(副学長)	村上敬宣
	理事(副学長)	柳原正治
	理事(副学長)	山田耕路
	理事(事務局長)	松元昭憲
	理事	渡辺浩志
	監事	鏑水恭史
	監事	篠原俊
	総長特別補佐	落合英俊
総長特別補佐	大学評価	川波洋一
総長特別補佐	構造改革	北川宏
総長特別補佐	構造改革	高崎講二
総長特別補佐	大学院教育	高田仁
総長特別補佐	広報戦略	谷川徹
総長特別補佐	知財管理,国際連携	淵田吉男
総長特別補佐	学部・全学共通教育	本田浩
総長特別補佐	病院	本上和彰
総長特別補佐	情報政策	安河内朗
総長特別補佐	芸術文化,デザイン	湯元清文
総長特別補佐	研究戦略	

## ■経営協議会委員

平成19年7月1日現在

区分	氏名	所属等
総長	梶山千里	
理事 (総長指名5名)	有川節夫	
	柴田洋三郎	
	小寺山亘	
	村上敬宣	
	松元昭憲	
病院長	水田祥代	
部局長 (部局長会議選出6名)	野田進	(箱崎文系地区)
	立居場光生	(箱崎理系／伊都地区)
	今泉勝己	( // )
	吉開泰信	(病院地区)
	山下邦明	(六本松地区)
	今脇資郎	(筑紫／大橋地区)
学外有識者(13名)	麻生渡	福岡県知事
	石原進	九州旅客鉄道㈱代表取締役社長
	鎌田迪貞	九州電力㈱相談役
	倉地幸徳	(独)産業技術総合研究所年齢軸生命工学研究センター長
	近藤秋男	全日本空輸㈱最高顧問
	重測雅敏	TOTO㈱取締役会長
	白井克彦	早稲田大学総長
	灌山龍三	長崎総合科学大学情報学部長
	竹嶋康弘	日本医師会副会長
	谷正明	(株)福岡銀行取締役頭取
	箱島信一	朝日新聞社特別顧問
	藤井龍子	大阪大学大学院法学研究科招へい教授
	吉田宏	福岡市長

※順不同・敬称略

歴代総長／  
運営組織役員等／  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学部取得  
者等学部卒業、  
大学院修了ア  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図

## ■ 教育研究評議会評議員

総長	梶山千里
理事	有川節夫
理事	柴田洋三郎
理事	小寺山亘
理事	村上敬宜
理事	柳原正治
理事	山田耕路
理事	松元昭憲
理事	渡辺浩志
大学院人文科学研究院長	稻田俊明
大学院比較社会文化研究院長	根井豊
大学院人間環境学研究院長	新谷恭明
大学院法学研究院長	直江眞一
大学院経済学研究院長	川波洋一
大学院言語文化研究院長	山下邦明
大学院理学研究院長	宮原三郎
大学院数理学研究院長	若山正人
大学院医学研究院長	高柳涼一
大学院歯学研究院長	赤峰昭文
大学院薬学研究院長	樋口駿
大学院工学研究院長	末岡淳男
大学院芸術工学研究院長	安河内朗
大学院システム情報科学研究院長	立居場光生
大学院総合理工学研究院長	寺岡靖剛
大学院農学研究院長	今泉勝己
法科大学院長	野田進
大学院システム生命科学府長	村上輝夫
教育学部長	野島一彦
生体防御医学研究所長	吉開泰信
応用力学研究所長	今脇資郎
先導物質化学研究所長	永島英夫
九州大学病院長	水田祥代
附属図書館長	(有川節夫)
総長特別補佐	落合英俊
総長特別補佐	本田浩

平成19年4月1日現在

文学部	柴田篤
経済学部	久野国夫
理学部	香月勗
医学部	東田善治
歯学部	前田勝正
薬学部	内海英雄
工学部	北條純一
芸術工学部	中島祥好
農学部	横川洋
高等教育開発推進センター長	淵田吉男
情報基盤研究開発センター長	村上和彰
健康科学センター長	上園慶子
センター群協議会I議長	恒吉正澄
※監事	鍾水恭史
※監事	篠原俊
※総長特別補佐	(川波洋一)
※総長特別補佐	北川宏
※総長特別補佐	高崎講二
※総長特別補佐	高田仁
※総長特別補佐	谷川徹
※総長特別補佐	(淵田吉男)
※総長特別補佐	(村上和彰)
※総長特別補佐	(安河内朗)
※総長特別補佐	湯元清文
※センター群協議会II議長	桑野範之
※事務局長	(松元昭憲)

※印はオブザーバー

( ) は再掲

構成員職数	48(現員 47名)
オブザーバー職数	13(現員 8名)



九州大学では、平成12年4月の「全学大学院重点化」(大学院に、より重点をおいて、教育研究組織を構成すること)の完了とともに、全国でも初めての「学府・研究院」制度を設けました。これは、大学院の教育研究組織である「研究科」を、大学院の教育組織としての「学府」(Graduate School)と教員の所属する研究組織である\*\*「研究院」(Faculty)とに分離して、相互の柔軟な連携を図るものであります。(図1)

大学院重点化に伴って、教員の所属は從来の学部から大学院に移り、さらに大学院を教育組織と研究組織に分離することにより、学府・学部教育への研究院の枠を超えた教員の多様な参加が可能となりました。また、教育・研究双方の組織をそれぞれの必要性から独自に再編することが可能となりました。

図1

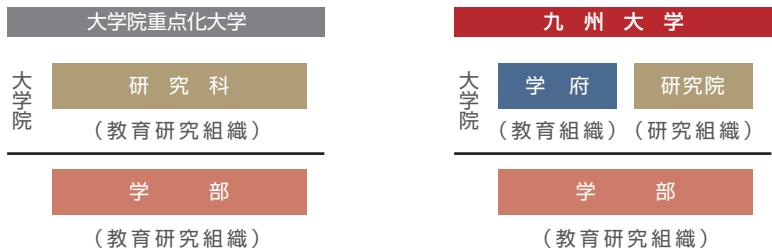
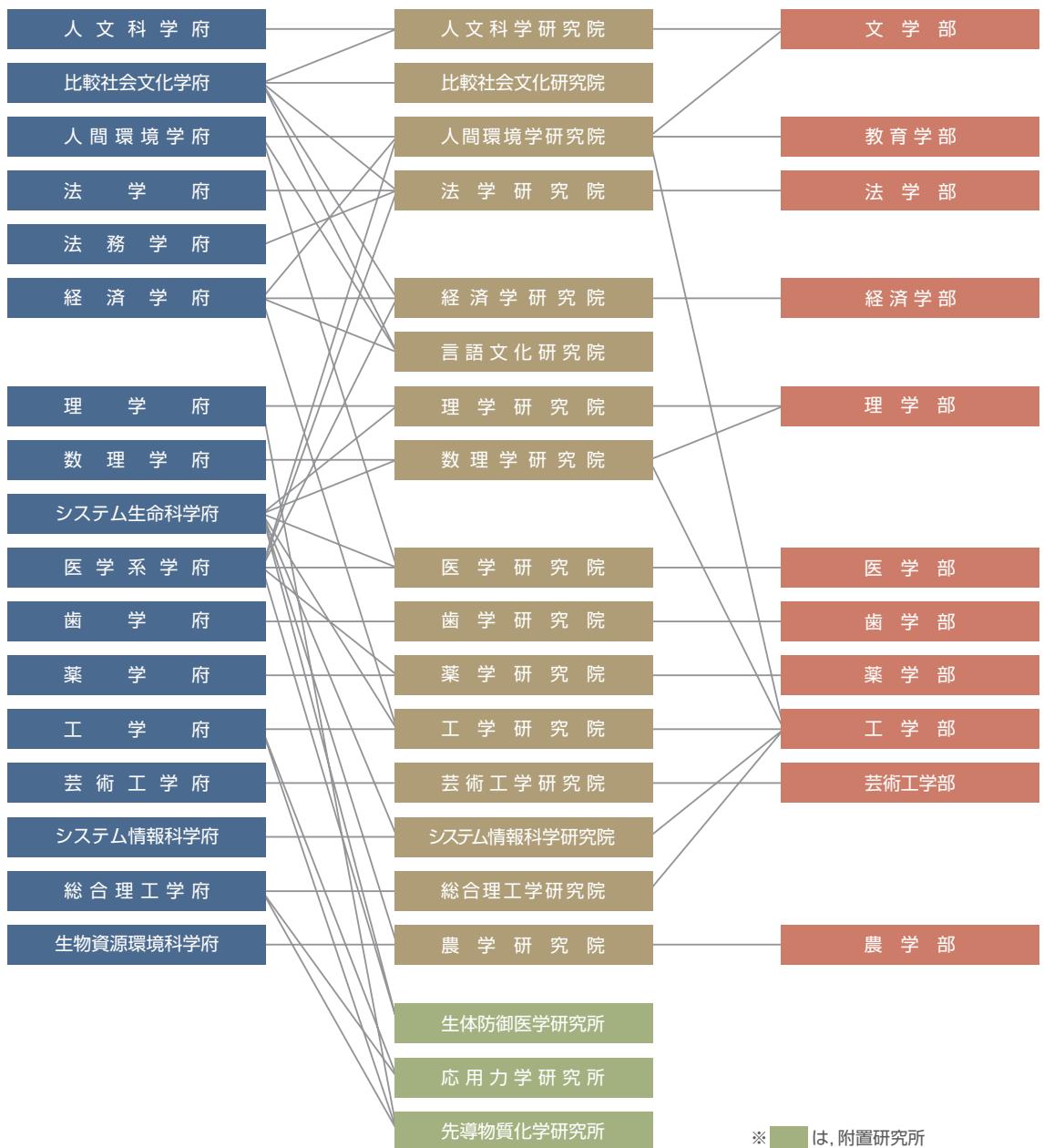
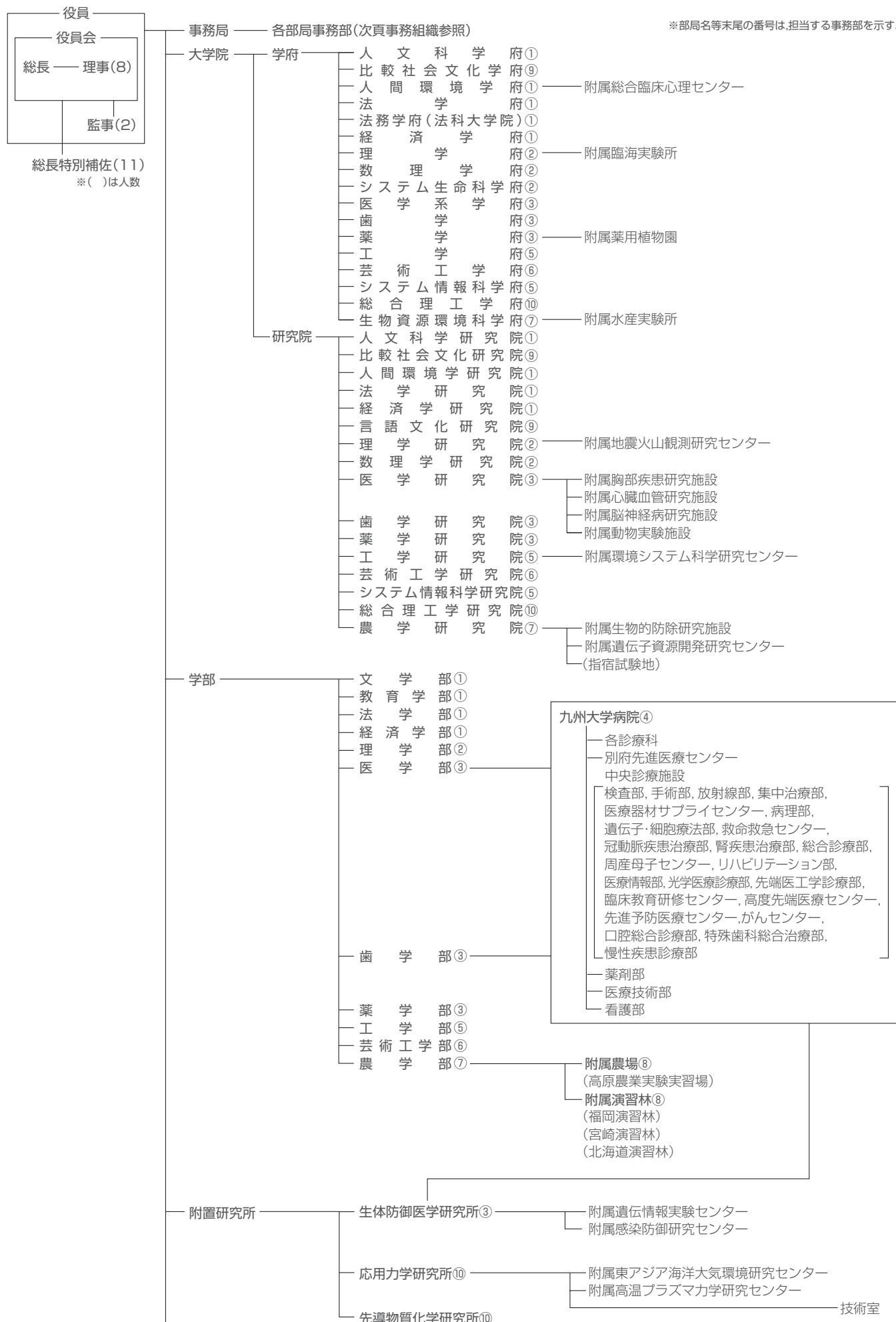


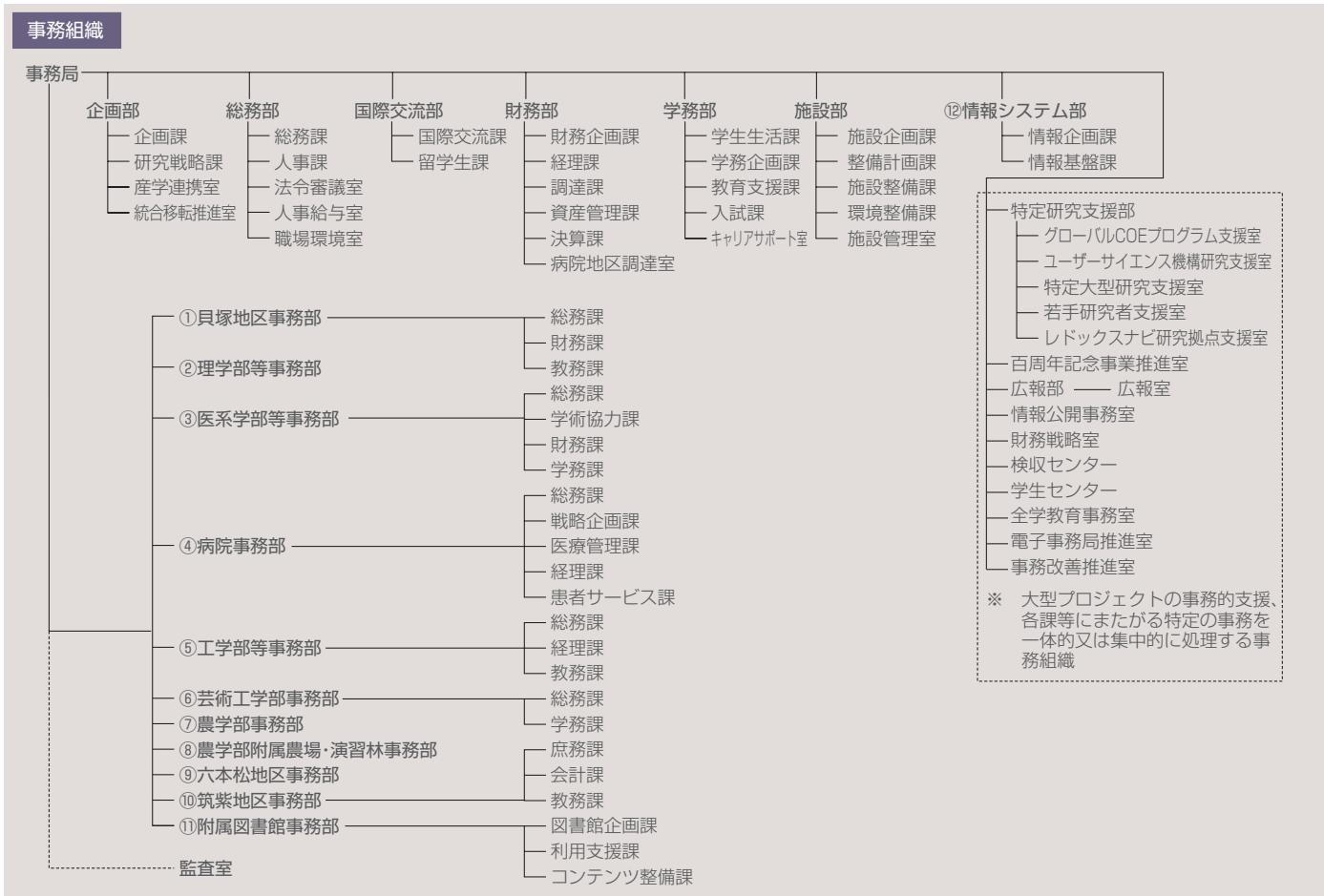
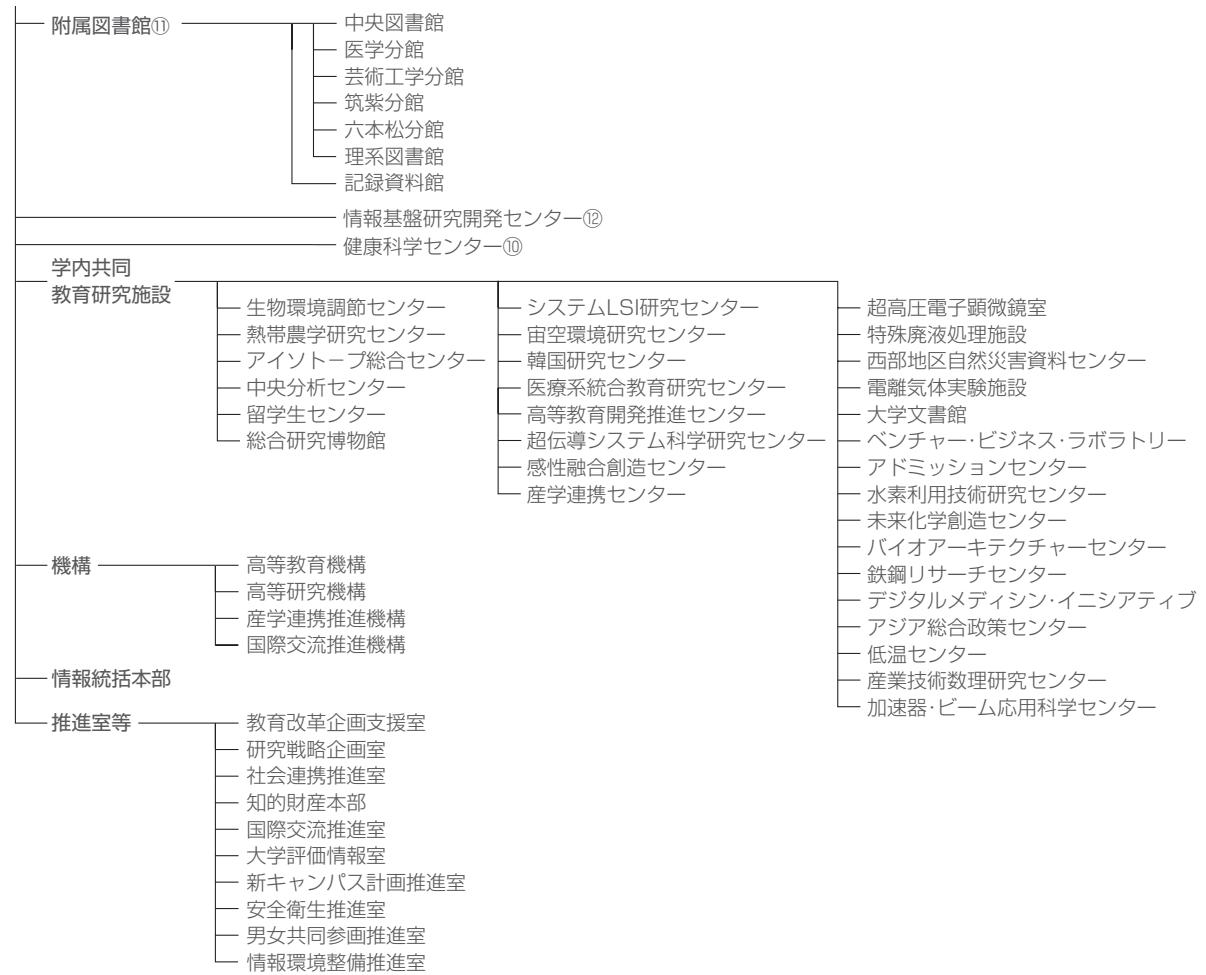
図2

### ■学府・研究院・学部の編成



- 歴代総長／運営組織
- 役員等／経営協議会委員
- 教育研究評議会議員
- 沿革
- 学府・研究院制度について
- 大学の組織
- 部局長等
- 教育研究組織
- 学生定員及び在籍学生数
- 入学状況
- 学位取得者数等
- 学部卒業・大学院修了後の状況
- 教職員等
- 社会との連携
- 国際交流
- 収入・支出
- 土地・建物
- 伊都キャンパス
- 建物配置図及び部局所在地
- 諸施設
- 案内図





(平成19年7月1日現在)

研究 院	大学院人文科学研究院長	稻田 俊明	文学部長	稻田 俊明
	大学院比較社会文化研究院長	根井 豊	教育学部長	野島 一彦
	大学院人間環境学研究院長	新谷 恭明	法学部長	直江 真一
	大学院法学研究院長	直江 真一	経済学部長	川波 洋一
	大学院経済学研究院長	川波 洋一	理学部長	宮原 三郎
	大学院言語文化研究院長	山下 邦明	医学部長	高柳 涼一
	大学院理学研究院長 地震火山観測研究センター長	宮原 三郎 清水 邦洋	歯学部長	赤峰 昭文
	大学院数理学研究院長	若山 正人	薬学部長	樋口 駿
	大学院医学研究院長 胸部疾患研究施設長	高柳 涼一 中西 洋一	工学部長	末岡 淳男
	心臓血管研究施設長 脳神経病研究施設長 動物実験施設長	砂川 賢二 吉良 潤一 續 輝久	芸術工学部長	安河内 朗
学 部	大学院歯学研究院長	赤峰 昭文	農学部長 農場長 演習林長	今泉 勝己 中原 敬進
	大学院薬学研究院長	樋口 駿		
	大学院工学研究院長 環境システム科学研究センター長	末岡 淳男 島岡 隆行	生体防御医学研究所長 遺伝情報実験センター長 感染防御研究センター長	吉開 博幸 藤信泰幸
	大学院芸術工学研究院長	安河内 朗		
	大学院システム情報科学研究院長	立居場 光生	応用力学研究所長 東アジア海洋大気環境研究センター長 高温プラズマ力学研究センター長	今脇 邦資 柳佐 哲助
	大学院総合理工学研究院長	寺岡 靖剛		
	大学院農学研究院長 生物的防除研究施設長 遺伝子資源開発研究センター長	今泉 勝己 高木 正見 佐藤 見光	先導物質化学研究所長	永島 英夫
			医学部・歯学部・生体防御医学研究所附属病院長 (九州大学病院長)	水田 祥代
学 府	大学院人文科学府長	稻田 俊明	附属図書館長 副館長	有川 啓二 木瀬善夫
	大学院比較社会文化学府長	根井 豊	医学分館長	野瀬直郎
	大学院人間環境学学府長 総合臨床心理センター長	新谷 恭明 田嶌 誠一	芸術工学分館長 筑紫分館長	片瀬哲郎 吉田馬弘
	大学院法学府長	直江 真一	六本松分館長	有江輪
	法科大学院長	野田 進	理系図書館長	田崎宗
	大学院経済学府長	川波 洋一	記録資料館長	江哲
	大学院理学府長 臨海実験所長	宮原 三郎 渡慶次 瞳範	情報基盤研究開発センター長	上村和彰
	大学院数理学府長	若山 正人	健康科学センター長	園上慶子
	大学院システム生命科学府長	村上 輝夫	生物環境調節センター長	筑紫二郎
	大学院医学系学府長	高柳 涼一	熱帯農学研究センター長	緒方一夫
伊都 キャンパス	大学院歯学府長	赤峰 昭文	アイソトープ総合センター長	前田米藏
	大学院薬学府長 薬用植物園長	樋口 駿一 樋口 隆一	中央分析センター長	菊池裕嗣
	大学院工学府長	末岡 淳男	留学生センター長	柳原正治
	大学院芸術工学府長	安河内 朗	総合研究博物館長	多田内修
	大学院システム情報科学府長	立居場 光生	システムLSI研究センター長	安浦寛人
	大学院総合理工学府長	寺岡 靖剛	宇宙環境研究センター長	湯元清文
	大学院生物資源環境科学府長 水産実験所長	今泉 勝己 松山 倫也	韓国研究センター長	稻葉繼雄
			医療系統合教育研究センター長	恒吉正澄
			高等教育開発推進センター長	淵田吉男
			超伝導システム科学研究センター長	船木和夫
			感性融合創造センター長	源田悦夫

産学連携センター長	小寺山 亘	施設部長	小島 敏行	敏行
超高压電子顕微鏡室長	松村 晶	施設企画課長	近藤 昭夫	昭夫
特殊廃液処理施設長	桑野 榮一	整備計画課長	松岡 力	力
西部地区自然災害資料センター長	善功企	施設整備課長	山口 春正	春正
電離気体実験施設長	間瀬 淳	環境整備課長	栗木 浩	浩
大学文書館長	有川 節夫	施設管理室長	折田 彰彦	彰彦
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長	谷川 徹	情報システム部長	福富 正彦	正彦
アドミッションセンター長	山田 耕路	情報企画課長	久志 昇	昇
水素利用技術研究センター長	佐々木 一成	情報基盤課長	原田 盛一	盛一
未来化学創造センター長	山田 淳	監査室長	山口 乃里子	乃里子
バイオアーキテクチャーセンター長	割石 博之	貝塚地区事務部長	田中 秀敏	秀敏
鉄鋼リサーチセンター長	高木 節雄	総務課長	大塚 英司	英司
デジタルメディアシン・イニシアティブ長	砂川 賢二	財務課長	中村 俊郎	俊郎
アジア総合政策センター長	岡崎 智己	教務課長	伴 直幸	直幸
低温センター長	和田 裕文	理学部等事務長	秋枝 一敏	一敏
産業技術数理研究センター長	中尾 充宏	医系学部等事務部長	溝部 修一	修一
加速器・ビーム応用科学センター長	野呂 哲夫	総務課長	吉塚 英夫	英夫
教育改革企画支援室長	山田 耕路	学術協力課長	古畑 嗣男	嗣男
研究戦略企画室長	村上 敬宣	財務課長	前田 俊治	俊治
社会連携推進室長	山田 耕路	学務課長	飯野 和治	和治
知的財産本部長	小寺山 亘	病院事務部長	西川 泉	泉
国際交流推進室長	柳原 正治	総務課長	河野 雅史	雅史
大学評価情報室長	落合 英俊	戦略企画課長	黒川 雅之	雅之
新キャンパス計画推進室長	有川 節夫	医療管理課長	阿部 芳生	芳生
安全衛生推進室長	有川 節夫	経理課長	井上 実和	実和
男女共同参画推進室長	松元 昭憲	患者サービス課長	岩村 彦彦	彦彦
事務局長	松元 昭憲	工学部等事務部長	東島 利昭	利昭
企画部長	玉上 晃	総務課長	小原 健次	健次
企画部次長(兼)企画課長	芹ヶ野 哲郎	経理課長	井上 敏勝	敏勝
研究戦略課長	米澤 宏	教務課長	是松 正俊	正俊
産学連携室長	上村 基生	芸術工学部事務部長	戸川 英明	英明
統合移転推進室長	宮崎 利展	総務課長	金谷 昭辰	昭辰
総務部長	松本 次好	学務課長	松崎 誠一	誠一
総務課長	大土 井	農学部事務長	笠 敏治	敏治
総務部次長(兼)人事課長	上田 浩司	附属農場・演習林事務長	山田 英雄	英雄
法令審議室長	百崎 義隆	六本松地区事務長	根本 正明	正明
人事給与室長	大石 哲也	筑紫地区事務部長	井上 栄二	栄二
職場環境室長	伊熊 勝史	庶務課長	高野 一雄	一雄
国際交流部長	穴沢 一夫	会計課長	増原 敬二	敬二
国際交流課長	里見 昭彦	教務課長	村上 正範	正範
留学生課長	太田 稔	附属図書館事務部長	濱崎 修一	修一
財務部長	井手 孝行	図書館企画課長	益森 治巳	治巳
財務企画課長	佐藤 哲喜	利用支援課長	山田 周治	周治
経理課長	福島 浩	コンテンツ整備課長	鈴木 秀樹	秀樹
調達課長	野口 喜修	特定研究支援部長	(玉上 晃)	晃)
資産管理課長	岩田 實	ユーザーサイエンス機構研究支援室長	(玉上 晃)	晃)
決算課長	長澤 恒雄	特定大型研究支援室長	小菜 範光	範光
病院地区調達室長	染矢 光二	レドックスナビ研究拠点支援室長	(吉塚 英夫)	英夫)
学務部長	鈴木 司透	百周年記念事業推進室長	大森 禮次郎	礼次郎
学生生活課長	木林 定人	検収センター長	荻野 力	力
学務企画課長	江島 透	事務改善推進室長	松元 茂久	茂久
教育支援課長	黒川 人文			
入試課長	中原 寿夫			
キャリアサポート室長	渡辺 和夫			

## ■[学部] 学科・科目・(講座)

学 部	学 科	学科目(医学部保健学科にあっては講座)
文学部	人文学科	哲学, 歴史学, 文学, 人間科学
教育学部		心理, 教育
法学部		基礎法学, 公法学, 民刑事法学, 政治学
経済学部	経済・経営学科	経済・経営学
	経済工学科	経済工学
	物理学科	情報理学, 物理学
	化学科	化学
理学部	地球惑星科学科	地球惑星科学
	数学科	数学
	生物学科	生物学
	医学科	医学入門, 医学生物学, 生命基礎医学, 疾病基礎医学, 臨床医学, 医学総合講義, 臨床医学実習, 総合医科学, 社会医学
	生命科学科	生命科学
	保健学科	基礎看護学, 臨床看護学, 発達看護学, 地域・精神看護学, 基礎放射線科学, 医用放射線科学, 生体情報学, 病態情報学
歯学部	歯学科	歯科医学総論, 口腔基礎常態学, 口腔基礎病態学, 口腔保健学, 臨床歯学
	創薬科学科	創薬科学
	臨床薬学科	臨床薬学
	建築学科	建築学
	電気情報工学科	電気情報工学
	物質科学工学科	化学プロセス・生命工学, 応用化学, 材料科学工学
工学部	地球環境工学科	建設都市工学, 船舶海洋システム工学, 地球システム工学
	エネルギー科学科	エネルギー科学
	機械航空工学科	機械工学, 航空宇宙工学
	(共通科目)	一般電気工学, 工業数学
	環境設計学科	環境設計学
	工業設計学科	工業設計学
	画像設計学科	画像設計学
芸術工学部	音響設計学科	音響設計学
	芸術情報設計学科	芸術情報設計学
	(共通科目)	システム工学、情報工学
農学部	生物資源環境学科	生物資源生産科学, 応用生物科学, 地球森林科学, 動物生産科学

## ■[学部] 21世紀プログラム

「21世紀を担う人材として専門性の高いゼネラリストを育成すること」を目標に、平成13年度から始まった新しい教育プログラム。学生は文系、理系にまたがる学部横断型の個別指導と少人数教育を基本とする教育を受ける。徹底した教養教育、国際的人材養成のための外国語教育、大学外の専門家による講義など幅広い学修を行う。所定の単位を修得した学生は、卒業認定に基づき、「学士(学術)」の学位を授与される。

## ■[学府] 専攻・講座

学 府	専攻数	専 攻	講 座
人文科学府	3	人文基礎専攻	哲学・倫理学, 東洋思想, 芸術学
		歴史空間論専攻	日本史学, アジア史学, 広域文明史学, 地理学
		言語・文學専攻	日本・東洋文学, 西洋文学, 言語学
比較社会文化学府	2	日本社会文化専攻	社会構造, 文化構造, 地域構造, 基層構造, 地域資料情報, °自然保全情報, °極域地圈環境, 経済構造, 比較基層文明, 産業資料情報, 日本語教育
		国際社会文化専攻	アジア社会, 欧米社会, 比較文化, 地球自然環境, 比較政治, 地球環境保全, 異文化コミュニケーション, 國際言語文化
人間環境学府	6	都市共生デザイン専攻	アーバンデザイン学, 都市災害管理学
		人間共生システム専攻	共生社会学, 臨床心理学
		行動システム専攻	心理学, 健康行動学
		教育システム専攻	教育社会計画学, 国際教育環境学
		空間システム専攻	建築計画学, 建築環境学, 建築構造学
		実践臨床心理学専攻	実践臨床心理学

学府	専攻数	専攻	講座(数理学専攻にあっては研究領域、保健学専攻にあっては分野)
法学府	5	基礎法学専攻	法文化学、法史学、法動態学
		公法・社会法学専攻	公法学、社会法学
		民刑事法専攻	民事法学、刑事法学、 <sup>△</sup> 民刑事法學
		国際関係法専攻	国際関係法學、 <sup>△</sup> 国際関係法学
		政治学専攻	政治学基礎、政治動態分析
法務学府(法科大学院)	1	実務法専攻	実務法學
経済学府	3	経済工学専攻	経済システム解析、政策分析、数理情報
		経済システム専攻	経済システム
		産業マネジメント専攻	産業マネジメント
理学府	5	基礎粒子系科学専攻	粒子宇宙論、粒子物理学、多体系基礎論
		分子科学専攻	有機化学系、物理化学系、生物化学系、物質変換化学
		凝縮系科学専攻	凝縮系基礎論、複雑系科学、量子物性科学、集合系無機化学、集合系分子化学、集合系物理化学、物理有機化学
		地球惑星科学専攻	固体地球惑星科学、太陽惑星系物質科学、流体圏・宇宙圏科学、地震学・火山学、地球惑星博物学
		生物科学専攻	動態生物学、情報生物学、統合生物学、海洋生物学
数理学府	1	数理学専攻	数理学
医学系学府	9	システム生命科学専攻	生命情報科学、生命工学、生命医科学、分子生命科学
		機能制御医学専攻	構造解析学、医学生物物理学、構造機能医学、神經病態科学、免疫遺伝学
		生殖発達医学専攻	小児医学、生殖常態病態学、 <sup>△</sup> ゲノム創薬・治療学
		病態医学専攻	病理学、微生物免疫学、感染防御学、感染制御学、増殖分化制御、免疫制御学
		臓器機能医学専攻	内科学、外科学、心臓血管病態制御学、分子細胞情報学、呼吸器内科学、分子腫瘍学、 <sup>△</sup> ゲノム病態学、免疫病態学、老化制御学
		分子常態医学専攻	生理科学、生化学、薬理学、脳機能制御学、分子発現制御学、実験動物学
		環境社会医学専攻	社会医学、医療情報システム学、医学教育学
		医科学専攻	医科学
		医療経営・管理学専攻	医療経営・管理学
		保健学専攻	看護学、医用量子線科学、検査技術科学
歯学府	1	歯学専攻	口腔常態制御学、口腔保健推進学、口腔機能修復学、口腔顎頬面病態学、全身管理歯科学、総合歯科学、 <sup>△</sup> 口腔保健開発学、 <sup>*</sup> 口腔生体応答学
薬学府	2	医療薬科学専攻	臨床薬学、生命薬学、医薬品情報解析学、 <sup>△</sup> 薬物送達システム学、 <sup>*</sup> 漢方医薬学
		創薬科学専攻	生体分子情報学、医薬化学、薬用植物育種学、 <sup>*</sup> 化学療法分子制御学
工学府	12	物質創造工学専攻	応用無機化学、機能設計化学、生体機能化学、バイオミメティクス、超分子化学
		物質プロセス工学専攻	材料反応プロセス工学、材料加工科学、材料化学工学
		材料物性工学専攻	分子組織化学、機能物性化学、材料組織科学、機能材料工学
		化学システム工学専攻	分子システム化学、分子情報化学、バイオプロセス化学、生物化学工学、環境調和システム工学
		建設システム工学専攻	建設材料工学、建設設計工学、防災地盤工学、環境地盤工学
		都市環境システム工学専攻	都市システム計画学、環境デザイン工学、都市環境工学、環境システム工学
		海洋システム工学専攻	沿岸海洋工学、船舶海洋性能工学、船舶海洋構造工学
		地球資源システム工学専攻	地球工学、資源システム工学、エネルギー資源工学
		エネルギー量子工学専攻	原子核・量子線工学、核エネルギーシステム学、エネルギー物質科学、応用物理学
		機械科学専攻	機械強度学、流体工学、熱工学、燃焼科学、水素利用工学
		知能機械システム専攻	材料・生体機能学、システム制御、力学システム、加工プロセス、図形・計算情報学
		航空宇宙工学専攻	航空宇宙熱・流体力学、航空宇宙機構構造強度、航行ダイナミクス、宇宙システム工学、大気流体力学、ナノメカニクス、複合連続体力学
芸術工学府	2	芸術工学専攻	環境論、環境計画設計、環境システム、人間工学、インダストリアルデザイン、知的機能工学、視覚学、視覚芸術学、画像工学、音文化学、音響環境学、音響情報学、芸術文化論、メディア設計学、情報環境学
		デザインストラテジー専攻	デザインビジネス、アドバンストデザイン
システム情報科学府	5	情報理学専攻	発見科学、基礎情報学、広域情報学
		知能システム学専攻	認知科学、知能処理システム、情報認識システム、情報メディア
		情報工学専攻	情報回路及び信号処理、情報通信、計算機科学、高度情報処理システム、 <sup>△</sup> 実エンベデッドソフトウェア開発工学、 <sup>△</sup> エンベデッドソフトウェア基礎
		電気電子システム工学専攻	電子システム工学、システム制御工学、電気システム工学、超伝導工学基礎
		電子デバイス工学専攻	電子機能材料工学、電子機能デバイス工学、ナノ集積システム工学

学 府	専攻数	専 攻	講 座
総合理工学府	5	量子プロセス理工学専攻	電気プロセス工学, 光機能材料工学, 量子物性学, 分子プロセス工学, 分子材料科学, ◇機能物性評価学
		物質理工学専攻	固体表面科学, 固体材料設計学, 分子物性計測学, 材料物性学, 物質構造化学, 有機合成化学, 融合材料科学, ◇新素材開発工学
		先端エネルギー-理工学専攻	高密度エネルギー理工学, 先端エネルギーシステム開発学, 炉心理工学, 高エネルギー物質理工学, ◇先端エネルギーシステム学
		環境エネルギー工学専攻	流動熱工学, 熱環境工学, エネルギー効率利用工学, 輸送現象学
		大気海洋環境システム学専攻	流体環境学, 環境基礎解析学, 環境計測学, 環境予測学, ◇海洋機器開発
生物資源環境科学府	8	生物資源開発管理学専攻	生物保護管理学, 遺伝育種学, 植物保護防疫学, 動物昆虫学, 生物的防除学
		植物資源科学専攻	植物機能利用学, 農業植物科学, 植物生産科学, 農業生産生態学, 生物環境調節学, 热帯作物・環境学
		生物機能科学専攻	生物機能化学, 食品バイオ工学, 応用微生物学, 海洋生命化学
		動物資源科学専攻	高次動物生産システム学, 家畜生産学, 海洋生物生産学, アクアフィールド科学
		農業資源経済学専攻	国際農業資源開発・経営経済学, 農業関連産業組織学
		生産環境科学専攻	生産環境情報学, 地域環境科学, 生産システム科学
		森林資源科学専攻	森林圏環境資源科学, 森林機能制御学, 森林機能開発学, 生物材料機能学, 森林生態圏管理学
		遺伝子資源工学専攻	遺伝子機能制御学, 遺伝子資源開発学

備考／1. ◇印を冠するものは連携講座  
2. ☆印を冠するものは客員講座

## ■[研究院] 部門・講座

研 究 院	部門数	部 門	講 座 (数理学研究院にあっては研究領域)
人文科学研究院	3	哲学部門	哲学, 儒理学, インド哲学史, 中国哲学史, 芸術学
		歴史学部門	日本史学, 東洋史学, 朝鮮史学, 考古学, 西洋史学, イスラム文明史学, 地理学
		文学部門	国語学・国文学, 中国文学, 英語学・英文学, 独文学, 仏文学, 言語学
比較社会文化研究院	3	環境変動部門	地球変動, 生物多様性, 基層構造, ◇自然保全情報, ◇極域地図環境
		社会情報部門	歴史資料情報, 社会変動, 国際社会情報
		文化空間部門	文化動態, 文化表象
人間環境学研究院	3	人間科学部門	共生社会学, 心理学, 臨床心理学
		教育学部門	教育社会計画学, 国際教育環境学
		都市・建築学部門	アーバンデザイン学, 都市災害管理学, 建築計画学, 建築環境学, 建築構造学
法学研究院	6	基礎法学部門	法文化学, 法史学, 法動態学
		公法・社会法学部門	公法学, 社会法学
		民刑事法学部門	民事法学, 刑事法学, ◇民刑事法学
		国際関係法学部門	国際関係法学, ◇国際関係法学
		政治学部門	政治学基礎, 政治動態分析
		実務法学部門	実務法学
経済学研究院	4	経済工学部門	経済システム解析, 政策分析, 数理情報
		産業・企業システム部門	産業システム, 経営システム, 会計システム
		国際経済経営部門	国際経済分析, 国際企業分析, ◇アジア経済調査
		産業マネジメント部門	産業マネジメント
言語文化研究院	2	言語環境学部門	言語教育学, 言語情報学
		国際文化共生学部門	国際共生学, 国際文化学
理学研究院	4	物理学部門	粒子宇宙論, 粒子物理学, 多体系基礎論, 凝縮系基礎論, 複雑系科学, 量子物性科学
		化学部門	無機化学系, 分子集合系, 集合物性系, 有機化学系, 分子構造系, 生物化学系
		地球惑星科学部門	固体地球惑星科学, 太陽惑星系物質科学, 流体圏・宇宙圏科学, 地震学・火山学
		生物科学部門	動態生物学, 情報生物学, 統合生物学, 海洋生物学
数理学研究院	2	数学部門	純粹数学系
		数理科学部門	応用数学系

研究院	部門数	部門	講 座（保健学部門においては分野）
医学研究院	6	基礎医学部門	生体制御学, 生体情報科学, 病態制御学, 社会環境医学, 医療経営・管理学
		先端医療医学部門	先端医療医学
		臨床医学部門	内科学, 外科学, 生殖発達医学
		分子生命科学系部門	細胞工学, 機能高分子設計学
		医学教育学部門	医学教育学
		保健学部門	看護学, 医用量子線科学, 検査技術科学
歯学研究院	1	歯学部門	口腔常態制御学, 口腔保健推進学, 口腔機能修復学, 口腔顎顔面病態学, △口腔保健開発学, *口腔生体応答学
薬学研究院	2	臨床薬学部門	臨床薬学, 生命薬学, ◇薬物送達システム学, *漢方医薬学
		創薬科学部門	生体分子情報学, 医薬化学, 薬用植物育種学, ◇化学療法分子制御学
工学研究院	11	化学工学部門	分子・生物システム工学, 生産システム工学
		応用化学部門	応用精密化学, 生体機能化学, 機能組織化学, 分子情報システム
		材料工学部門	材料反応工学, 材料加工工学, 材料機能工学
		建設デザイン部門	構造および地震工学, 環境設計材料工学, 地盤学
		環境都市部門	都市システム工学, 都市環境学, 沿岸域環境学, 環境システム学
		海洋システム工学部門	船舶海洋性能工学, 船舶海洋構造工学, 海洋システム設計学
		地球資源システム工学部門	地球工学, 資源システム工学, エネルギー資源工学
		エネルギー量子工学部門	原子核・量子線工学, 核エネルギーシステム学, エネルギー物質科学, 応用物理学
		機械科学部門	機械強度学, 流体工学, 熱工学, 燃焼科学, 水素利用工学
		知能機械システム部門	材料・生体機能学, システム制御, 力学システム, 加工プロセス, 図形・計算情報学
		航空宇宙工学部門	航空宇宙熱・流体力学, 航空宇宙機構構造強度, 航行ダイナミクス, 宇宙システム工学
芸術工学研究院	6	環境計画部門	環境論, 環境計画設計, 環境システム
		人間生活システム部門	人間工学, インダストリアルデザイン, 知的機能工学
		視覚情報部門	視覚学, 視覚芸術学, 画像工学
		音響部門	音文化学, 音響環境学, 音響情報学
		芸術情報部門	芸術文化論, メディア設計学, 情報環境学
		応用情報部門	応用システムデザイン
システム情報科学研究院	6	情報理学部門	発見科学, 基礎情報学
		知能システム学部門	認知科学, 知能処理システム, 情報認識システム, 情報メディア
		情報工学部門	情報回路及び信号処理, 情報通信, 計算機科学, ◇実エンベデッドソフトウェア開発工学, △エンベデッドソフトウェア基礎
		電気電子システム工学部門	電子システム工学, システム制御工学, 電気システム工学
		電子デバイス工学部門	電子機能材料工学, 電子機能デバイス工学, ナノ集積システム工学
		超伝導科学部門	超伝導科学
総合理工学研究院	5	融合創造理工学部門	電気理工学, 固体材料物性工学, 物性動力学, ◇機能物性評価学
		エネルギー物質科学部門	固体表面科学, 機能材料設計学, 分子物性計測学, 物質エネルギー応用工学, △新素材開発工学
		エネルギー理工学部門	高密度エネルギー理工学, エネルギーシステム学, ◇先端エネルギーシステム学
		エネルギー環境共生工学部門	流動熱工学, 熱環境工学
		流体環境理工学部門	流体環境学
農学研究院	8	生物資源開発管理学部門	生物保護管理学, 遺伝育種学, 植物保護防疫学, 動物昆虫学, 生物の防除学
		植物資源科学部門	植物機能利用学, 農業植物科学, 植物生産科学, 農業生産生態学
		生物機能科学部門	生物機能制御学, 生物機能化学, 食品バイオ工学, 応用微生物学, 海洋生命化学
		動物資源科学部門	高次動物生産システム学, 家畜生産学, 海洋生物生産学, アクアフィールド科学
		農業資源経済学部門	国際農業資源開発・経営経済学, 農業関連産業組織学
		生産環境科学部門	生産環境情報学, 地域環境科学, 生産システム科学
		森林資源科学部門	森林圏環境資源科学, 森林機能制御学, 森林機能開発学, 生物材料機能学, 森林生態圈管理学
		遺伝子資源工学部門	遺伝子制御学, 蛋白質化学工学, 細胞制御工学, 遺伝子資源開発学

備考／1. ◇印を冠するものは連携講座 2. ☆印を冠するものは客員講座

- 歴代総長／運営組織  
役員等／経営協議会委員  
教育研究評議会評議員  
沿革  
学府・研究制度について  
大学の組織  
部局長等  
教育研究組織  
学生定員及び在籍学生数  
入学状況  
学位取得者等  
学部卒業・大学院修了後の状況  
教職員等  
社会との連携  
国際交流  
収入・支出  
土地・建物  
伊都キャンパス  
建物配置図及び部局所在地  
諸施設  
案内図



## ■【医学部・歯学部・生体防御医学研究所附属病院（呼称：九州大学病院）】 診療科・病床数・患者数

部門	診 療 科	病床数	平成18年度患者数		部門	診 療 科	病床数	平成18年度患者数	
			入 院	外 来				入 院	外 来
九州大学病院（医科）	血液・腫瘍内科	49			（歯科）	口腔保健科			
	免疫・膠原病・感染症内科	24				口腔機能修復科			
	消化管内科	39				口腔顎頸面外科			
	腎・高血圧・脳血管内科	30				(口腔総合診療部)	40	※12,201	143,472
	内分泌代謝・糖尿病内科	36				(特殊歯科総合治療部)			
	肝臓・脾臓・胆道内科	32				計	40		
	心療内科	34							
	神経内科	30				別院	免疫・血液・代謝内科専門診療科	30	
	循環器内科	25					外科専門診療科	20	
	呼吸器科	40					循環・呼吸・老年病内科専門診療科	26	※28,115
	産科婦人科	45					療養病棟	36	20,843
	小児科	42					計	112	
	第一外科	63							
	第二外科	77							
	整形外科	77							
	脳神経外科	30	※395,072	434,378					
	心臓血管外科	19							
	小児外科	16							
	皮膚科	21							
	泌尿器科	31							
	精神科神経科	93							
	眼科	52							
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	52							
	放射線科	52							
	麻醉科蘇生科	4							
	先端分子・細胞治療科	10							
	救命救急センター	4							
	(集中治療部)	20							
	(冠動脈疾患治療部)	10							
	(腎疾患治療部)	5							
	(総合診療部)	20							
	(周産母子センター)	56							
	(リハビリテーション部)	5							
	(RI病床)	8							
	(高度先端医療病床)	5							
	共通病床	79							
	計	1,235							

※入院患者数は延べ人数  
( )中央診療施設

- 歴代総長／運営組織
- 役員等／経営協議会委員
- 教育研究評議会評議員
- 沿革
- 学府・研究院制度について
- 大学の組織
- 部局長等
- 教育研究組織
- 学生定員及び在籍学生数
- 入学状況
- 学位取得者数等
- 学部卒業・大学院修了後の状況
- 教職員等
- 社会との連携
- 国際交流
- 収入・支出
- 土地・建物
- 伊都キャンパス
- 建物配置図及び部局所在地
- 諸施設
- 案内図

## ■学内共同教育研究施設

施 設	設 置 年 度	設 置 目 的
生物環境調節センター	昭. 41	学内の生物学関連分野に制御環境を提供するとともに、生物環境調節に関する研究を推進する。
熱帯農学研究センター	昭. 50	本学における熱帯農学に関する研究及び教育を行う。
アイソトープ総合センター	昭. 55	アイソトープ関係の教育研究を行うとともに、アイソトープの安全管理を総括し、アイソトープを利用して教育研究を行う教員その他の者の共同利用に供する。
中央分析センター	昭. 57	本学教員その他の者が研究教育上必要な分析及び試料作成を行う。
留学生センター	平. 4	外国人留学生に対する日本語、日本文化・日本事情等の教育及び修学・生活上の指導助言を行う。また、海外留学を希望する学生に対する修学・生活上の指導助言、留学生交流の推進に関する業務を行う。
総合研究博物館	平. 12	学術標本の収蔵、分析、展示・公開及び学術標本に関する教育研究の支援並びにこれらに関する調査研究を行うとともに、学内外の教育研究活動に寄与する。
システムLSI研究センター	平. 13	システムLSIの応用、設計・製造・検査に関する技術を総合的に研究し、その学問体系の確立と高度情報化社会における当該技術の利用について調査研究を行う。
宇宙環境研究センター	平. 14	宇宙環境変動(宇宙天気)の予報や宇宙ゴミの警報などの実用化に向けた新しい宇宙環境科学の創成のための調査研究を行う。
韓国研究センター	平. 14	韓国を中心とする朝鮮半島地域の学際的で総合的な研究を行うとともに、国内外の関連研究者との共同研究をコーディネートし、韓国研究の結節点として機能する。
医療系統合教育研究センター	平. 15	医学、歯学、薬学及び保健学の分野の教育における共通基盤教育(以下「医療系統合教育」という。)に関する研究を行い、その改善充実に資するとともに、医学部、歯学部及び薬学部が行う医療系統合教育に係る企画及び実施を支援する。
高等教育開発推進センター	平. 18	高等教育に関する研究開発を行うとともに、全学教育、学府共通教育、教育プロジェクト等の実施及び推進並びに入学者選抜方法、学生生活・修学支援等の開発、企画及び実施を行うことを目的とする。
超伝導システム科学研究センター	平. 15	超伝導システム科学に関する基礎から各種情報、エネルギー・システムへの応用までを目指した研究・教育を包括的に行う。
感性融合創造センター	平. 15	仮想環境創造教育研究部門、実体環境創造教育研究部門、感性情報応用創造教育研究部門及びデザイン・アーカイブ教育研究部門の4つの教育研究部門からなり、芸術的感性の諸科学への融合による新しい価値の創造と有為な人材の育成を目的とした教育及び研究を行う。
産学連携センター	平. 15	本学と産業界との研究協力及び学術交流を推進するとともに、地域社会への貢献に資することを目的とする。
超高圧電子顕微鏡室	昭. 50	電子顕微鏡(電顕)観察用試料の作製、電顕写真並びにデータ処理を行う等超高圧電顕による研究を推進する。
特殊廃液処理施設	昭. 57	本学の教育研究活動によって発生する無機系、有機系廃液及び固体廃棄物を適正に処理する。
西部地区自然災害資料センター	平. 元	九州地区及び山口県における自然災害に関する資料を収集・整理し、本学の教員その他の者の求めに応じて資料を検索・提供するとともに、自然災害に関する研究を行う。
電離気体実験施設	平. 2	電離気体に関する実験・研究を行う。
大学文書館	平. 17	本学に関わる法人文書等の資料を収集・整理・保存し、大学及び大学の歴史に関する調査研究を行うとともに、その資料を、学生、職員その他一般の利用に供する。
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	平. 8	本学の大学院において、ベンチャー・ビジネスの萌芽ともなるべき独創的な研究開発を推進するとともに、高度の専門的職業能力を持つ創造的な人材を育成する。
アドミッションセンター	平. 15	アドミッションオフィス方式(総合評価方式)入学試験の実施を行う。
水素利用技術研究センター	平. 16	水素の製造・供給、利用及び安全評価に関する技術を総合的に研究し、その学問体系の確立と、環境と調和した高度エネルギー利用社会における当該技術の利用について調査研究と技術の確立を行う。
未来化学創造センター	平. 17	未来化学の拠点として、ナノテクノロジー、フォトニクス及びバイオテクノロジーを基盤とした新産業創出のための新規化学技術に関して集中的かつ有機的連携のもとで研究を推進し、その学問体系の確立と未来社会における化学技術の利用についての調査研究及び応用技術の確立を行う。
バイオアーキテクチャーセンター	平. 17	生物機能の解析、高度活用及びデザインに関する技術の総合的な研究開発を行い、生物機能デザイン等の技術に基づいた物質生産プロセスの開発拠点を構築するとともに、産官学連携を推進する研究開発の場を提供し、社会・産業へ貢献する。
鉄鋼リサーチセンター	平. 17	鉄鋼の製造技術や新しい材料開発に関する、大学と企業が共同で解決すべき課題について産学連携で取り組み、得られた研究成果を実際の鉄鋼生産に結びつけていくための国家プロジェクト研究や大型プロジェクト研究に展開させる。
デジタルメディア・イニシアティブ	平. 17	生命情報学とコンピュータモデリング(ドライ研究)を積極的に導入し、要素情報を多次元(生化学、電気、機械等)、多階層(遺伝子、分子、細胞、組織、固体)の生体システムとして再構築し、シミュレーター・デジタルペインメントの開発を行う。
アジア総合政策センター	平. 17	経済的な発展と国土の開発が進む現代アジアを総合的に捉え、政府、自治体、企業、市民社会に対し、有益かつ有効な政策提言の行える調査・研究を行う。
低温センター	平. 18	低温実験等に不可欠な液体ヘリウム、液体窒素等を安全かつ安定的に供給するとともに、寒剤利用者に対する保安教育及び寒剤利用者の低温実験等の支援を行う。
産業技術数理研究センター	平. 19	数学と他分野との融合研究を実施するとともに、産業界と連携して研究交流及び人材育成を推進する。
加速器・ビーム応用科学センター	平. 19	量子ビームを安定的に供給し、量子ビームの利用者に対する教育研究上の支援及び安全教育を行うとともに、加速器及び量子ビームに係る研究開発を行うことを目的とする。

## ■情報基盤研究開発センター

設置年度	設 置 目 的
平. 19	研究、教育等に係る情報化を推進するための実践的調査研究、基盤となる設備等の整備及び提供その他専門的業務を行う。

## ■健康科学センター

設置年度	設 置 目 的
昭. 53	健康科学に関する研究並びに保健及び体育に関する教育を行うとともに、職員、学生等の健康管理及び体育指導に関する専門的業務を行う。

## ■機構

機 構	設置年度	設 置 目 的
産学連携推進機構	平. 10	知的財産本部、産学連携センター、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーや各部局が連携して、全学的な立場で産学連携を推進するシステムであり、本学の研究成果を社会に還元するとともに、産業界等からのニーズに関する情報、支援等を受け入れ、本学の教育研究の高度化・活性化に資する。
高等教育機構	平. 18	本機構は、総長を機構長とし、大学の総合的な教育活動に関する事項について、企画・支援等を行う「教育改革企画支援室」と学部教育及び学府教育の共通に係る教育、教育改革等、入学者選抜方法、学生生活支援等に係る実施・推進並びに高等教育等の研究・開発を行う「高等教育開発推進センター」で構成する。
高等研究機構	平. 13	学術研究の将来戦略の策定及びCOE研究として相応しい多様な研究グループの組織化を推進する。
国際交流推進機構	平. 14	学術の国際交流の推進、学生の海外留学及び外国人留学生受入れ等の推進、アジアの総合研究等の推進の企画及び実施を円滑に行う。

## ■推進室等

推 進 室 等	設置年度	設 置 目 的
国際交流推進室	平. 14	戦略的国際交流プロジェクト等の企画・立案を行うとともに、総長のリーダーシップのもとで、各国際交流活動推進するための調整的機能を担う。
研究戦略企画室	平. 14	本学の戦略的研究企画を機動的・積極的に推進し、研究の活性化、高度化、個性化を図るとともに、関連委員会の任務を支援する。
教育改革企画支援室	平. 18	本学の教育改革の構想を機動的・積極的に推進し、教育の高度化、個性化、活性化に資するとともに、高等教育審議会等の任務を支援する。
社会連携推進室	平. 15	本学の社会連携の窓口として、社会連携推進戦略の原案作成、社会連携連絡協議会・自治体等との連絡調整、社会連携に関する情報の収集及び提供等に関する業務を行う。
知的財産本部	平. 15	知的財産の創出、取得、管理及び活用を総合的・戦略的に実施し、産学連携を推進する。
大学評価情報室	平. 16	評価及びマネジメントに資する基礎情報の調査・収集・分析による点検・評価活動への支援及び「大学評価情報システム」に関する業務を行う。
新キャンパス計画推進室	平. 16	新キャンパス計画の推進を支援する。
安全衛生推進室	平. 16	安全衛生の推進を支援する。
男女共同参画推進室	平. 16	男女共同参画の推進を支援する。

## ■戦略的研究拠点育成プログラム(文部科学省科学技術振興調整費)

名 称	採択年度	目 的
ユーザーサイエンス機構	平. 16	大学における研究が専門分化しすぎて人々や社会の抱える問題に即応しにくくなっていること、特にユーザーから乖離してしまっている現状に着目し、かねてから大学における研究の課題となってきた縦割りの研究組織を革新して、横断的かつ柔軟なプロジェクトを誘発し、推進することを目的とする。また、大学院「感性学府ユーザーサイエンス専攻(仮称)」の設置により、「ユーザー」の視点をもって感性と技術を融合する研究・開発をコーディネートし、推進していくことができる人材の育成を目指す。

歴代総長／運営組織

役員等／経営協議会委員

教育研究評議会評議員

沿革

学府・研究院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究組織

学生定員及び在籍学生数

入学状況

学位取得者数等

学部卒業・大学院修了後の状況

教職員等

社会との連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都キャンパス

建物配置図及び部局所在地

諸施設

案内図

(平成19年5月1日現在)

## ■ [学部] 定員及び在籍学生数

学 部	入学定員	在籍学 生 数						計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
文学部	160	161 (110)	166 (119)	166 (127)	214 (135)			707 (491) (69%)
教育学部	50	54 (39)	55 (39)	52 (34)	63 (37)			224 (149) (67%)
法学部	200	204 (89)	203 (85)	207 (86)	276 (106)			890 (366) (41%)
経済学部	240	253 (67)	250 (78)	258 (68)	378 (85)			1,139 (298) (26%)
理学部	277	301 (71)	291 (56)	306 (55)	407 (65)			1,305 (247) (19%)
医学部	249	266 (137)	266 (141)	258 (130)	287 (139)	100 (21)	101 (22)	1,278 (590) (46%)
歯学部	55	56 (22)	65 (27)	63 (23)	58 (25)	61 (21)	57 (22)	360 (140) (39%)
薬学部	80	87 (33)	89 (35)	88 (42)	84 (53)			348 (163) (47%)
工学部	804	850 (77)	846 (64)	871 (72)	1,088 (74)			3,655 (287) (8%)
芸術工学部	202	214 (82)	213 (89)	224 (72)	264 (77)			915 (320) (35%)
農学部	229	241 (109)	234 (78)	242 (93)	284 (118)			1,001 (398) (40%)
21世紀プログラム	-	[26 (18)]	[28 (20)]	[31 (19)]	[32 (23)]			[117 (80) (68%)]
計	2,546	2,687 (836)	2,678 (811)	2,735 (802)	3,403 (914)	161 (42)	158 (44)	11,822 (3,449) (29%)

※( )は、女子学生数(内数)及びその比率

※21世紀プログラムの欄の数は、各学部に在籍している学生のうち、21世紀プログラム課程を履修している学生数(内数)

## ■ [大学院] 定員及び在籍学生数

研究科		修 士 課 程			専 門 職 学 位 課 程					
		入賞定員	1年次	2年次	計	入賞定員	1年次	2年次	3年次	計
薬学研究科										
芸術工学研究科				1 (1)	1 (1)(100%)					
計				1 (1)	1 (1)(100%)					
人文科学府	56	35 (14)	48 (20)	83 (34)	(41%)					
比較社会文化学府	50	54 (34)	54 (37)	108 (71)	(66%)					
人間環境学府	83	108 (39)	119 (56)	227 (95)	(42%)	30	30 (25)	31 (25)	61 (50)	
法学府	60	60 (27)	46 (16)	106 (43)	(41%)					
法務学府						100	101 (39)	102 (43)	94 (33)	297 (115)
経済学府	47	44 (15)	47 (11)	91 (26)	(29%)	45	42 (11)	55 (11)	97 (22)	
理学府	150	164 (44)	176 (45)	340 (89)	(26%)					
数理学府	54	53 (5)	55 (4)	108 (9)	(8%)					
システム生命科学府										
医学系学府	40	56 (33)	30 (17)	86 (50)	(58%)	20	17 (10)	35 (16)	52 (26)	
歯学府										
薬学府	55	76 (31)	77 (27)	153 (58)	(38%)					
工学府	265	422 (33)	411 (23)	833 (56)	(7%)					
芸術工学府	90	160 (46)	182 (65)	342 (111)	(32%)					
システム情報科学府	115	152 (9)	144 (6)	296 (15)	(5%)					
総合理工学府	164	242 (21)	238 (22)	480 (43)	(9%)					
生物資源環境科学府	161	247 (100)	237 (76)	484 (176)	(36%)					
計	1,390	1,873 (451)	1,864 (425)	3,737 (876)	(23%)	195	190 (85)	223 (95)	94 (33)	507 (213)
合 計	1,390	1,873 (451)	1,865 (426)	3,738 (877)	(23%)	195	190 (85)	223 (95)	94 (33)	507 (213)

※( )は、女子学生数(内数)及びその比率

歴代総長／  
運営組織役員等／  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度に  
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

(平成19年5月1日現在)

入学定員	博士(後期)課程						合計	
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計		
			1			1	(0%)	
			9 (5)			9 (5)	(56%)	10 (6) (60%)
			10 (5)			10 (5)	(50%)	11 (6) (55%)
	28	20 (10)	22 (11)	66 (27)		108 (48)	(44%)	191 (82) (43%)
	40	31 (14)	31 (17)	90 (49)		152 (80)	(53%)	260 (151) (58%)
(82%)	44	39 (15)	49 (23)	83 (46)		171 (84)	(49%)	459 (229) (50%)
	25	18 (10)	12 (4)	26 (8)		56 (22)	(39%)	162 (65) (40%)
	24	29 (9)	6	22 (6)		57 (15)	(26%)	245 (63) (26%)
	70	65 (13)	30 (5)	58 (11)		153 (29)	(19%)	493 (118) (24%)
	34	16 (1)	19 (1)	15		50 (2)	(4%)	158 (11) (7%)
	38	49 (13)	50 (12)	21 (5)	16 (4)	23 (7)	159 (41)	(26%) 159 (41) (26%)
(50%)	107	127 (33)	115 (30)	110 (20)	107 (34)		459 (117)	(25%) 597 (193) (32%)
	43	60 (26)	27 (8)	28 (7)	39 (16)		154 (57)	(37%) 154 (57) (37%)
	26	27 (6)	13 (2)	19 (8)			59 (16)	(27%) 212 (74) (35%)
	126	156 (9)	100 (12)	100 (7)			356 (28)	(8%) 1,189 (84) (7%)
	20	32 (15)	38 (12)	48 (16)			118 (43)	(36%) 460 (154) (33%)
	51	52 (3)	40 (2)	25 (4)			117 (9)	(8%) 413 (24) (6%)
	76	47 (9)	60 (4)	42 (5)			149 (18)	(12%) 629 (61) (10%)
	77	72 (23)	67 (19)	88 (22)			227 (64)	(28%) 711 (240) (34%)
(42%)	829	840 (209)	679 (162)	841 (241)	162 (54)	23 (7)	2,545 (673)	(26%) 6,789 (1,762) (26%)
(42%)	829	840 (209)	679 (162)	851 (246)	162 (54)	23 (7)	2,555 (678)	(27%) 6,800 (1,768) (26%)

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

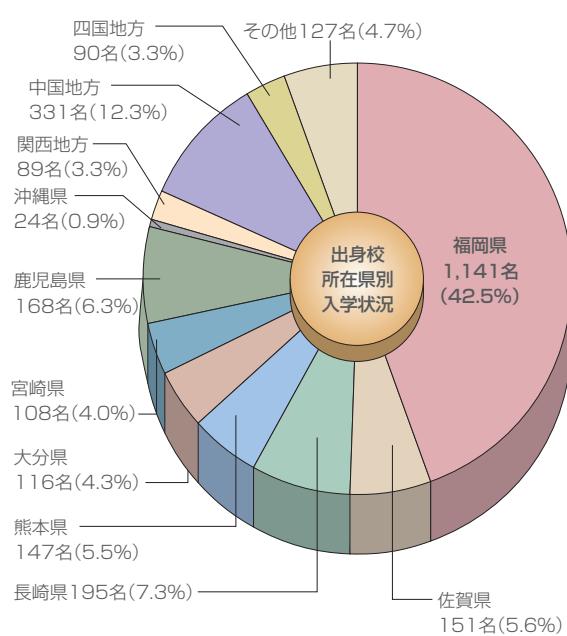
案内図

## ■[学部] 入学状況

学 部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
文学部	159	603 403	491 337	174 119	160 109
教育学部	49	146 99	113 77	54 38	53 38
法学部	199	909 324	623 213	224 93	204 88
経済学部	238	1,449 350	1,021 260	271 70	251 (2) 67
理学部	272	973 224	697 172	305 70	296 68
医学部	246	1,120 558	914 432	278 143	263 134
歯学部	55	289 107	222 79	58 23	55 22
薬学部	79	276 146	213 108	88 34	86 33
工学部	798	2,415 207	1,828 162	886 76	844 (8) 72 (1)
芸術工学部	197	647 235	504 175	216 82	209 79
農学部	228	759 334	578 254	254 114	240 108
21世紀プログラム	26	117 57	78 45	27 18	26 18
計	2,546	9,703 3,044	7,282 2,314	2,835 880	2,687 (10) 836 (1)

※下段数字は、女子学生数(内数)

※( )は、国費・政府派遣・日韓共同留学生(内数)



## 入学状況

学位取得者数等

学部卒業・大学院修了後の状況

教職員等

社会との連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都キャンパス

建物配置図及び部局所在地

諸施設

案内図

## ■[大学院] 入学状況

(平成19年5月1日現在)

学 府	修 士 課 程						専 門 職 学 位 課 程						博 士 課 程												
	入学定員	志願者数			入学者数			入学定員	志願者数			入学者数			入学定員	志願者数			入学者数						
		本学	他大学	その他	本学	他大学	その他		本学	他大学	その他	本学	他大学	その他		本学	他大学	その他	本学	他大学	その他				
人文科学府	56	23 11 0	50 24 8	0 0 0	73 35 8	17 8 1	18 6 0	35								28	18 11 0	10 1 3	0 0 0	28 10 0	3 0 1	20 10 1			
比較社会文化学府	50	9 4 0	94 55 36	1 0 0	104 59 36	8 4 0	45 30 20	1 0 0	54 34 20							40	18 9 7	20 8 9	0 17 0	38 9 6	17 5 7	31 14 0			
人間環境学府	83	84 21 3	85 37 11	14 11 17	183 69 3	66 18 3	32 14 9	10 7 15	108 39 0	31 24 0	62 39 0	0 0 0	93 63 0	20 17 0	10 8 0	30 25 0	35 44 2	15 17 0	4 5 1	54 23 13	28 13 0	6 1 1	37 15 1		
法学府	60	37 14 1	35 13 14	0 0 0	72 27 15	24 9 1	10 6 6	0 0 0	34 15 7							25	16 7 4	9 2 3	0 0 0	25 9 7	13 7 1	15 0 0			
法務学府										100	90 26 0	392 107 0	0 0 0	482 133 0	30 14 0	71 25 0	0 0 0	101 39 0							

学 府	修 士 課 程							専 門 職 学 位 課 程							博 士 課 程													
	入 学 志願者数			入 学 者 数				入 学 志願者数			入 学 者 数				入 学 志願者数			入 学 者 数				入 学 志願者数			入 学 者 数			
	定員	本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計	定員	本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計	定員	本学	他大学	その他	計	本学	他大学	その他	計	
経済学府	47	17 5 0	79 30 38	0 0 0	96 35 38	7 1 0	37 14 15	0 0 0	44 15 15	45	14 3 0	84 23 12	0 0 0	98 26 12	7 3 0	35 8 3	0 0 0	42 11 3	24	15 6 2	20 5 5	0 0 0	35 11 7	15 6 2	14 3 3	0 0 0	29 9 5	
理学府	150	163 34 2	65 27 9	0 0 0	228 61 11	138 31 2	27 13 9	0 0 0	165 44 11										70	55 10 4	11 4 3	0 0 0	66 14 7	55 10 4	10 3 3	0 0 0	65 13 7	
数理学府	54	36 3 0	30 4 1	0 0 0	66 7 1	31 3 0	22 2 1	0 0 0	53 5 1										34	14 1 1	2 0 0	0 0 0	16 1 1	14 1 1	2 0 0	0 0 1	16 1 1	
システム生命科学府																			38	50 16 1	36 10 7	0 0 0	86 26 8	30 8 1	19 5 5	0 0 0	49 13 6	
医学系学府	40	27 11 1	63 42 0	10 8 2	100 61 3	21 21 0	30 21 0	5 4 0	56 33 0	20	4 1 0	17 9 1	3 3 0	24 13 1	3 1 0	11 6 1	3 3 0	17 10 1	107	73 16 2	63 17 0	11 4 7	147 37 9	63 13 2	54 16 0	10 3 7	127 32 9	
歯学府																			43	29 12 0	32 14 3	0 0 0	61 26 3	28 12 0	32 14 3	0 0 0	60 26 3	
薬学府	55	75 36 2	37 9 0	0 0 0	112 45 2	59 28 1	17 3 0	0 0 0	76 31 1										26	18 5 0	3 0 0	0 0 0	21 5 1	18 5 0	3 0 1	0 0 0	21 5 1	
工学府	265	454 25 4	85 13 13	3 0 0	542 38 17	391 24 2	30 9 9	1 0 0	422 33 11										126	70 6 9	38 2 9	21 0 0	129 8 18	68 5 9	38 2 9	20 0 0	126 7 18	
芸術工学府	90	128 29 3	74 27 28	2 1 0	204 57 31	109 25 3	49 20 19	2 1 0	160 46 22										20	19 10 6	16 5 3	6 1 0	41 16 9	15 9 5	13 5 1	4 1 0	32 15 6	
システム情報科学府	115	140 8 3	50 3 0	6 0 0	196 11 28	128 7 1	21 2 11	3 0 0	152 9 12										51	24 1 1	12 2 3	7 0 1	43 3 5	24 1 1	12 2 3	7 0 1	43 3 5	
総合理工学府	164	119 8 2	243 25 1	36 2 0	398 35 3	86 7 1	134 13 1	22 1 0	242 21 2										76	18 2 2	10 4 1	0 0 0	28 6 3	18 2 2	10 4 1	0 0 0	28 6 3	
生物環境科学府	161	194 71 1	136 66 12	0 0 0	330 137 13	154 56 11	81 39 0	0 0 0	235 95 12										77	42 14 7	20 4 9	0 0 0	62 18 16	41 14 7	18 3 9	0 0 0	59 17 0	
計		1,506 1,390	1,126 280	722,704 677	1,239 229	553 192	441,836 134	195	139 54 0	555 178 13	3 3 0	697 235 13	60 35 0	127 47 4	3 3 0	190 85 4	2829	514 143 48	317 83 59	49 6 9	880 232 116	464 125 44	250 63 47	44 5 9	758 193 100			

※中段数字は、女子学生数(内数)

下段数字は、外国人留学生数(内数)











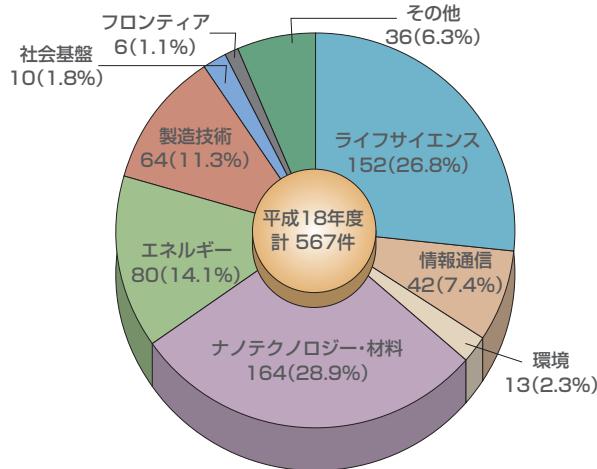
## ■研究員等

種別	受入れ者数
民間等との共同研究のための研究員	67
受託研究員	25
内地研究員	2
教員研修センター研修員	1
私学研修員等	1
公立大学研修員	1
日本学術振興会特別研究員	220
外国人受託研修員	16
中国医学研修員	0
日本学術振興会外国人招へい研究者	14
日本学術振興会外国人特別研究員	25
帰国外国人留学生	2
中国政府派遣研究員	2
計	376

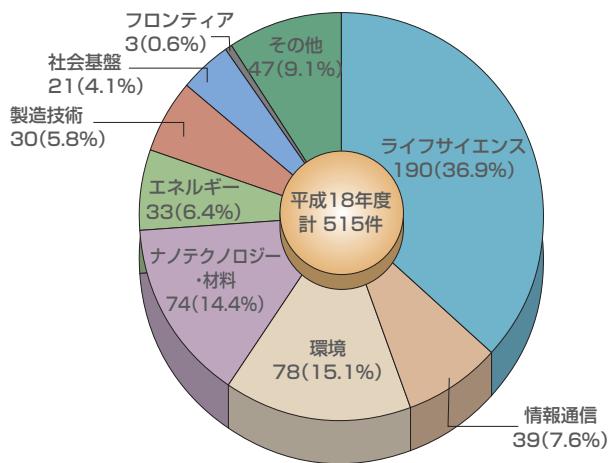
## ■招へい外国人教師等

	(平成19年5月1日現在)
外国人教師	6
外国人研究員	4

## ■民間等との共同研究実施件数



## ■受託研究実施件数



歴代総長／運営組織

役員等／経営協議会委員

教育研究評議会評議員

沿革

学府・研究院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究組織

学生定員及び在籍学生数

入学状況

学位取得者等

学部卒業・大学院修了後の状況

教職員等

社会との連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都キャンパス

建物配置図及び部局所在地

諸施設

案内図

(平成18年度)

## ■公開講座開催状況

講 座 名	実施期間(回数)	担当部局(共催)
「名著から探るグローバル化時代の市民像」	9/23~12/ 2 (10回)	比較社会文化学府・比較社会文化研究院
九州大学学校管理職マネジメント短期研修プログラム	7/21~ 8/25 (5回)	人間環境学府・人間環境学研究院
専門職大学院コンソーシアム レクチャー・シリーズ I	8/26 (1回)	経済学研究院・医学研究院
専門職大学院コンソーシアム レクチャー・シリーズ II	11/23 (1回)	
現代数学入門	7/28~ 7/31 (4回)	数理学研究院
医療従事者の生涯教育②ストレスマネージメント	10/ 1~10/22 (4回)	医学研究院
医療の進歩と健康支援	7/ 1~ 7/29 (5回)	医学部(保健学科)
QOL(生活の質)と薬	5/28~ 9/24 (5回)	薬学研究院
生活の中の機械工学V	10/ 6~12/ 1 (7回)	
地球環境とエネルギー(私たちの身近な里山環境)	6/10~ 7/15 (6回)	工学研究院
クラシック音楽の聴き方	4/27~ 7/13 (6回)	
コンピュータグラフィックス(CG)によるアニメーション初級体験講座	6/17~ 6/24 (2回)	
人に優しいデザイナー高校生のための人間工学講座ー	8/ 5 (1回)	
高校生のための音と画像の実験	8/10~ 8/11 (2回)	芸術工学研究院
Excelと無料CGソフトでできる物理現象の数値シミュレーションと可視化	8/ 2~ 8/ 3 (2回)	
ビーダーマイヤーの文化と音楽－音楽のデザイン4－	10/11~12/15 (5回)	
「模型で考えるあなたの住まい」住宅デザインワークショップ	10/18~11/29 (4回)	
高校生のための最先端メディアスタジオワークショップ	12/26~12/27 (2回)	
地球環境を考える－深海開発から宇宙環境までの最前線－	8/ 5~ 9/ 2 (3回)	総合理工学府
地産地消と食育による食の安全性確保と健康な暮らし	7/20~ 8/10 (5回)	農学研究院
九州大学のフィールド科学教育施設を巡る旅	5/11~ 6/ 8 (5回)	
里山森林体験講座－森林活動・森林調査体験と総合的学習への展開－	8/23~ 8/25 (3回)	農学部附属演習林
九州山地の森を知ろう	9/23~ 9/24 (2回)	
十勝の森と生き物	7/ 8~10/ 1 (4回)	
体験！農業と食料・環境問題	7/26~ 7/28 (3回)	農学部附属農場
健康の科学2006－健康情報の“奥”をのぞいてみよう－	10/14~12/ 9 (5回)	健康科学センター
いきいき健康パワーを養って、アンチエイジング！	9/23~10/14 (4回)	

## ■寄附講座・寄附研究部門設置状況

部 局 名	講 座 ・ 研 究 部 门 名	設 置 期 間	寄 附 総 額(百 万 円)	寄 附 者
医学研究院	ナノバイオメディスン講座	平成17年 5月～平成20年 3月	90	ペンタックス株式会社
システム情報科学研究院	電気エネルギー環境工学講座	平成18年 4月～平成21年 3月	90	九州電力株式会社
医学研究院	包括的腎不全治療学講座	平成18年 5月～平成23年 4月	150	バクスター株式会社
薬学研究院	レドックス医薬科学講座	平成19年 4月～平成21年 3月	60	三菱ウェルファーマ株式会社
医学研究院	未来医用情報応用学講座	平成19年 4月～平成22年 3月	90	株式会社 A Z E
農学研究院	水圈バイオモニタリング学講座	平成19年 4月～平成22年 3月	51	株式会社正興電機製作所
薬学研究院	創薬腫瘍科学講座	平成19年 5月～平成22年 3月	88.5	正晃株式会社(幹事社) 株式会社 正興精機 武田薬品工業株式会社 工一ザイ株式会社 中外製薬株式会社 大鵬薬品工業株式会社

## 社会連携事業

(平成18年度)

事業名	実施主体部局等	学外連携自治体等
平成18年度福岡都市圏大学連携事業	社会連携推進室・アドミッションセンター	福岡都市圏大学連携会議・福岡市経済振興局学術・産業政策課
人文科学研究院社会連携セミナーⅠ「言語と文芸—和漢古典の世界—」	人文科学研究院	福岡市経済振興局観光課アジアマンス委員会事務局
人文科学研究院社会連携セミナーⅡ「朝鮮の歴史と文化」		福岡県言語聴覚士会 事務局
人文科学研究院社会連携セミナーⅢ「社会生活と言語コミュニケーション」		福岡アジア美術館 学芸課
福岡アジア美術館「フィリピンの美術」展キュレーション(企画構成)事業	比較社会文化研究院・総合研究博物館	福岡県立図書館郷土課
福岡・博多関係の古地図デジタル化プロジェクト	人間環境学研究院・九州大学病院	前原市民生部・教育委員会
発達障害特別支援地域ネットワーク事業	人間環境学研究院・工学部	福岡市中央区役所
産官学連携による福岡天神地区エリアマネジメントとまちづくりガイドライン策定事業	教育学部	福岡県教育センター事業計画課・志摩町教育委員会
福岡県教育委員会・教育センターとの連携にもとづく研修講座事業	経済学研究院	(社)福岡県中小企業経営者協会
中小企業のための経済・経営セミナー		
自然科学啓蒙事業		
先端科学普及事業		
先端科学体験事業	理学研究院	福岡県教育庁教育振興部
中等教育担当教員研修事業		
高校教育支援特別事業		
医師再教育事業	医学研究院	福岡県医師会、福岡市医師会、日本救急医学会、日本内視鏡外科学会
地域におけるメタボリック症候群の予防プログラムの開発		宇美町役場健康課
地域高齢者の転倒及び介護認定に関する要因分析に関する調査・研究事業	健康科学センター	福津市役所健康福祉部高齢者サービス課
ウォーキング事業参加者の運動継続への行動科学的視点による介入と効果検証		筑紫野市役所 健康福祉部健康推進課
福岡地域における地震活動の予測と地震情報の事前伝達システムの構築	工学研究院	福岡市中央区役所地域整備課
段ボールコンポストによる循環型コミュニティ形成事業		春日市地域生活部環境課
高校の化学クラブ活動を通じた調査・研究－優秀な理系学部受験生の獲得および企業からの支援－	芸術工学研究院	修猷館高校、福岡高校の化学担当教員(未定)、九州大学工学部同窓会
都市における市民遺産発掘事業		太宰府市教育委員会文化財課
広域八女圏の地域固有文化資源を生かした多世代交流型創造教育拠点整備に関する社会連携活動	芸術工学研究院・ユーザーサイエンス機構	八女市役所 八女市教育委員会
第6回九州森林フォーラム「国産材積極活用のリアリズム」への助成	農学研究院	NPO法人九州森林ネットワーク事務局
「地産地消による健康な生活」講演会		前原市農政課
芸術文化を取り込んだ先導的な食育と地域農産物のブランド化Ⅱ	農学研究院・農学部附属農場・芸術工学研究院	粕屋町地域振興課、JA粕屋農振興課
耕作放棄地の放牧利用を普及するための先端IT技術を活用した遠隔管理システムの構築	農学部附属農場(高原農業実験実習場)・知本本部	大分県北部振興局生産流通部
福岡演習林を活用した森林環境学習機会の提供事業	農学部附属演習林福岡演習林	篠栗町教育委員会
北海道演習林を活用した自然体験事業	農学部附属演習林北海道演習林	北海道立足寄少年自然の家事業課、足寄町教育委員会生涯学習室
北海道演習林を活用した中大連携・高大連携事業		足寄町立足寄中学校、北海道足寄高等学校
環境科学啓蒙事業	農学部附属演習林宮崎演習林	椎葉村企画観光課
森林教育体験事業		椎葉村企画観光課、大河内森林ガイドの会
高大連企画「模擬講義」「高校生と大学生のセミナー」	高等教育開発推進センター	福岡県教育委員会教育振興部高校教育課
福岡県立図書館と共に開催する資料展示・講演会開催事業	附属図書館	福岡県立図書館
コミュニケーションミュージアム事業	総合研究博物館	前原市総務部 建設都市部・志摩町企画課、二丈町企画調整課、都市整備課、都市計画課
伊都地区市民啓蒙活動事業	宙空環境研究センター	前原市企画振興部・建設都市部・九大移転まちづくり室、志摩町企画課、都市計画課、二丈町企画調整課、都市整備課
芦別地区市民啓蒙・先端的自然科学普及事業		北海道芦別市教育委員会、総務部企画課

歴代総長／運営組織

役員等／経営協議会委員

教育研究評議会評議員

沿革

学府・研究院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究組織

学生定員及び在籍学生数

入学状況

学位取得者数等

学部卒業・大学院修了後の状況

教職員等

社会との連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都キャンパス

建物配置図及び部局所在地

諸施設

案内図

## ■大学間交流協定

(平成19年5月1日現在)

国名等	大學等	学術交流協定 締結年月日	学生交流協定(覚書) 締結年月日
インド	インド工科大学マドラス校	平18(2006). 1. 3	平18(2006). 1. 3
インドネシア	ガジャマダ大学	平17(2005). 1.29	平17(2005). 1.29
	釜山大学校	昭61(1986). 9.15	平 6(1994). 9.29
	忠南大学校	平 3(1991).10.15	平 6(1994). 9.29
	全北大学校	平12(2000). 3. 7	
	ソウル大学校	平13(2001). 8.21	平13(2001). 8.21
	浦項工科大学校	平14(2002). 3.28	平14(2002). 3.28
	慶北大学校	平15(2003).12.30	平15(2003).12.30
	済州大学校	平16(2004).10.30	平16(2004).10.30
	慶尚大学校	平16(2004).12.14	平16(2004).12.14
	梨花女子大学校		平 6(1994).10.10
	延世大学校		平 6(1994).10.13
	西江大学校		平 6(1994).11.16
	慶熙大学校		平13(2001). 4.20
	東亜大学校	平17(2005). 3.10	平17(2005). 3.10
	江原大学校	平17(2005). 4.19	平17(2005). 4.19
	成均館大学校	平17(2005). 6.13	平17(2005). 6.13
	東国大学校	平17(2005). 6.20	平17(2005). 6.20
	高麗大学校	平17(2005). 8.17	平17(2005). 8.17
	全南大学校	平17(2005).10.26	平17(2005).10.26
ア ジ ア	シンガポール	平13(2001). 4.30	
		平16(2004). 8.17	平16(2004). 8.17
	タイ	平 6(1994). 5.30	平15(2003). 7. 3
		平14(2002). 8. 2	平14(2002). 8. 2
中国	中国	平15(2003). 9.30	平15(2003). 9.30
		中山大学	昭59(1984).11.12
		華南理工大学	昭60(1985). 6.25
		華南農業大学	昭60(1985). 6.25
		北京大学	昭60(1985).12.25
		吉林大学	昭61(1986).10. 4
		新疆師範大学	昭61(1986).11.27
		北京師範大学	昭61(1986).12.22
		清華大学	平 元(1989).11.27
		中国科学技術大学	平 7(1995).10.26
		四川大学	平13(2001).10.25
		浙江大学	平14(2002). 3.18
		上海交通大学	平14(2002). 9.29
		復旦大学	平15(2003). 9.22
		中國人民大学	平16(2004). 6.18
		南京大学	平16(2004).10.25
台湾	台湾	香港大学	平13(2001). 4.16
		香港中文大学	平13(2001). 4.23
		北京航空航天大学	平17(2005). 3.28
		西安交通大学	平17(2005). 4.27
フィリピン	フィリピン	東北師範大学	平18(2006). 4.28
		国立台湾大学	平13(2001). 4.18
		フィリピン大学	平16(2004). 8.11
		アテネオ デ マニラ大学	平16(2004).11. 8
			平15(2003). 6.30

歴代総長/  
運営組織役員等/  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度に  
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等学部卒業・  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図

国名等	大学等	学術交流協定 締結年月日	学生交流協定(覚書) 締結年月日
ヨーロッパ	アイスランド アイスランド大学	平18(2006).12. 6	平18(2006).12. 6
	マンチェスター大学	平 4(1992).11. 4	平11(1999).10. 1
	バーミンガム大学	平 5(1993).11. 9	平13(2001). 1. 8
	グラスゴー大学	平 6(1994). 1. 6	平16(2004). 3. 8
	シェフィールド大学	平16(2004).12.21	平16(2004).12.21
	ニューカッスル・ポン・タイン大学	平17(2005). 2. 6	平17(2005). 2. 6
	ブリストル大学		平12(2000).10. 5
	ロンドン大学アジア・アフリカ学院	平18(2006).11.27	平18(2006).11.27
	オランダ ライデン大学	平18(2006).12. 7	平18(2006).12. 7
	ウプサラ大学	平17(2005). 3.24	平17(2005). 3.24
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	平18(2006). 9.18	平18(2006). 9.18
	ストックホルム大学	平19(2007). 1. 8	平19(2007). 1. 8
フランス	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学(ミュンヘン大学)	昭59(1984). 1.30	平 7(1995). 4.10
	ハノーバー獣医科大学	昭63(1988). 9. 1	
	ハノーバー大学	平元(1989). 2.20	
	ミュンヘン工科大学	平16(2004). 6.26	平16(2004). 6.26
	ホーベンハイム大学	平16(2004). 9.22	平16(2004). 9.22
	ポルドー第一・第二・第三・第四大学・国立化学物理学院・国立電子情報科学院・建築景観学院	昭56(1981). 2. 4	※下記欄外参照
ベルギー	エクスマルセイユ第一大学(プロヴァンス大学)	平17(2005). 4. 8	平17(2005). 4. 8
	ストラスブルコンソーシアム(3機関)		平11(1999).10. 1
	グルノーブルコンソーシアム(4機関)		平11(1999).10. 1
	エコール ナショナル スーペリウール ド テクニック アヴァンセ		平16(2004). 3.17
	エコール ノーマル スーペリウール ド カシャン		平16(2004). 3.19
ロシア	エコール スーペリウール デレクトリシテ		平16(2004). 3.26
	エコール ポリテクニック		平16(2004). 3.30
	ルーヴアン・カトリック大学	昭59(1984). 1.25	平 9(1997).10. 1
	レウヴェン・カトリック大学	昭59(1984). 2.14	平 8(1996). 9.27
北米	サハリン国立総合大学	平18(2006).11.27	平18(2006).11.27
	アメリカ合衆国 アラバマ大学	昭58(1983).11. 7	
	ハワイ大学	平 4(1992). 7.17	
	コーネル大学	平 9(1997). 9.18	
	ジョージア大学	平14(2002). 4. 1	平14(2002). 4. 1
	カリフォルニア大学デビス校	平16(2004).12.22	
	ワシントン大学		平 6(1994).10. 3
	★プリンストン大学		平 7(1995). 5.10
	ライス大学		平 7(1995).10. 1
	ミシガン大学		平 7(1995).10. 1
	デューク大学(入学料・検定料のみ)		平 8(1996).11. 7
	ウィスコンシン大学マディソン校工学部		平 8(1996).12. 9
	ペラア大学		平12(2000). 3. 7
	イエール大学(入学料・検定料のみ)		平12(2000). 3.13
	グローブシティ大学		平12(2000). 3.15
	ケンヨン大学		平12(2000). 8. 1
カナダ	トロント大学		平13(2001). 5.23
	クイーンズ大学		平13(2001). 5.23
中南米 チリ	チリカトリック大学	平17(2005). 8.22	平17(2005). 8.22
	メキシコ メキシコ国立自治大学	昭58(1983).12.20	
オセアニア オーストラリア	クイーンズランド大学	平17(2005). 4.23	平17(2005). 4.23
	シドニー大学	平 5(1993).12.15	平 7(1995). 3.31
	オーストラリア国立大学	平18(2006). 5. 1	平18(2006). 5. 1
計		(19ヶ国・地域)78機関	(21ヶ国・地域)96機関

★印の大学は、授業料不徴収協定を締結していない大学。

※ボルドー第一・第二・国立化学物理学院・国立電子情報科学院 平18(2006). 2. 6  
 ボルドー建築景観学院 平18(2006). 2. 6  
 ボルドー第四大学 平18(2006). 3. 2  
 ボルドー第三大学 平18(2006). 6.21

歴代総長/  
運営組織役員等/  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等学部卒業・  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図



国名等	大学・学部等	締結部局	学術交流協定 締結年月日	学生交流協定(覚書) 締結年月日	
中東 アフ	イスラエル エジプト ザンビア アイスランド イタリア	テクニオン＝イスラエル工科大学 タンタ大学工学部 ザンビア大学鉱山学部 レイキャビク大学 ミラノ工科大学 ケンブリッジ大学東洋学部 ハートフォードシャー大学自然科学学部 ケンブリッジ大学ベン・プローク・カレッジ ロイヤル・カレッジ・オブ・アート建築デザイン学部 ロイヤル・カレッジ・オブ・アートヘレン・ハムリン・リサーチセンター ロイヤル・カレッジ・オブ・アートヘレン・ハムリン・リサーチセンター	総・シ情・工 シ情・工・総・応・機 工 法 芸術工 文 農 言 芸術工 芸 USI 法 工・総 芸術工 機・総 芸術工 総・工	平11(1999). 2. 8 平14(2002). 10.12 平18(2006). 8.10 平16(2004). 12.30 平14(2002). 2.28 平10(1998). 6.30 平10(1998). 12.22 平12(2000). 10.16 平15(2003). 6.30 平16(2004). 3.24 平18(2006). 5.19 平 7(1995). 9.11 平 5(1993). 5.25 平15(2003). 8.18 平12(2000). 9.13 平15(2003). 6.23 平12(2000). 1.26	
ヨーロッパ ヨー ロッバ	英國 オランダ スウェーデン スペイン スロベニア ドイツ ハンガリー フランス ブルガリア ポーランド ロシア デンマーク アメリカ合衆国 北米 南米 オセアニア	アムステルダム大学法学部 ルンド大学工学部 ルンド大学工学部 アリカンテ大学科学部 カタルーニャ工科大学 ノヴァゴリツア工科大学 ゲオルグ・アウグスト・ゲッティングン大学数学部 マックス・プランク研究所プラズマ物理研究所 カールスルーエ造形大学 ハノーバー大学機械工学部 デュースブルク・エッセン大学土木工学部、理工学部、生物・地理学部、化学部 シュトゥットガルト大学数学・物理学部 L.エトボシ大学理学部 センメルワイス大学薬学部 センメルワイス大学体育・スポーツ科学部、大学院スポーツ科学研究科 ランス・マネジメント・スクール パリ・ラ・ヴィレット建築大学 リール科学技術大学 パリ南大学遺伝学微生物学研究所 国立トゥールーズ電気電子情報流体通信工学院 ソフィア医科大学歯学部 バルナ医科大学歯学部 スタニスロースタジック鉱山冶金大学 非鉄金属学部 ロシア科学アカデミー太平洋研究所 ロシア科学アカデミー宇宙物理学・電波伝播研究所 ロシア科学アカデミー宇宙物理学・超高層大気物理学研究所 クルチャトフ研究所核融合研究所 ロシア科学アカデミーシベリア支部宇宙物理・超高層大気物理学研究所 ラブレンティエフ流体力学研究所 ロシアアレーヤー物理研究所 極東水文気象研究所 デンマーク ハーネマン大学医学部 マサチューセッツ大学工学部、自然科学部 カリフォルニア州立ボリテクニック大学ボノナ校 ケンタッキー大学応用エネルギー研究センター ヴァージニア工科大学 ワシントン大学工学部 ペンシルバニア州立大学エネルギー燃料研究センター コロンビア大学法学大学院 シカゴ大学放射線科カートロスマン放射線像研究所 カリフォルニア大学サンディエゴ校物理科学部、工学部、スクリブス海洋研究所 ニューヨーク大学ロースクール トロント大学オンタリオ教育研究所 マッギル大学工学部 ピクトリア大学法学部 カルガリー大学医学部 パナマ ブラジル モナシュ大学法医学部、人文社会学部 シドニー工科大学 オーストラリアIPS電波宇宙予報サービスセンター チャーリーズ・ダーウィン大学教育・保健・科学部 ニュージーランド 計	平10(1998). 12.22 平12(2000). 10.16 平15(2003). 6.30 平16(2004). 3.24 平18(2006). 5.19 平 7(1995). 9.11 平 5(1993). 5.25 平15(2003). 8.18 平12(2000). 9.13 平15(2003). 6.23 平12(2000). 1.26 平10(1998). 8.11 平15(2003). 3.26 平15(2003). 7.24 平 8(1996). 9.27 平17(2005). 3.10 平17(2005). 4. 4 平 3(1991). 5.23 平16(2004). 1.29 平17(2005). 9.20 平12(2000). 9. 5 平16(2004). 6.28 平17(2005). 4. 1 平18(2006). 9. 4 平18(2006). 9.29 平18(2006). 6. 7 平18(2006). 6. 9 平12(2000). 12.21 平11(1999). 2.22 平11(1999). 3.27 平11(1999). 4. 6 平12(2000). 12.11 平16(2004). 4.26 平16(2004). 6.29 平18(2006). 3.10 平18(2006). 11. 8 平19(2007). 3.23 昭59(1984). 4.30 昭62(1987). 5.21 平 2(1990). 6. 7 平 5(1993). 6.23 平 6(1994). 4. 6 平 7(1995). 6. 1 平 9(1997). 3.20 平12(2000). 12.12 平16(2004). 4. 5 平18(2006). 3.17 昭59(1984). 6.27 昭61(1986). 3.24 平 9(1997). 4. 4 平13(2001). 11.19 平17(2005). 10.28 昭58(1983). 6.14 平 8(1996). 6.14 平 9(1997). 4. 7 平 9(1997). 3.24 平18(2006). 5.16 平 9(1997). 1.30 (34ヶ国・地域) 138機関 (21ヶ国・地域) 54機関	平10(1998). 8.11 平12(2000). 10.16 平15(2003). 6.30 平16(2004). 3.24 平18(2006). 5.19 平 7(1995). 9.11 平 5(1993). 5.25 平15(2003). 8.18 平12(2000). 9.13 平15(2003). 6.23 平12(2000). 1.26 平10(1998). 8.11 平15(2003). 3.26 平15(2003). 7.24 平 8(1996). 9.27 平17(2005). 3.10 平17(2005). 4. 4 平 3(1991). 5.23 平16(2004). 1.29 平17(2005). 9.20 平12(2000). 9. 5 平16(2004). 6.28 平17(2005). 4. 1 平18(2006). 9. 4 平18(2006). 9.29 平18(2006). 6. 7 平18(2006). 6. 9 平12(2000). 12.21 平11(1999). 2.22 平11(1999). 3.27 平11(1999). 4. 6 平12(2000). 12.11 平16(2004). 4.26 平16(2004). 6.29 平18(2006). 3.10 平18(2006). 11. 8 平19(2007). 3.23 昭59(1984). 4.30 昭62(1987). 5.21 平 2(1990). 6. 7 平 5(1993). 6.23 平 6(1994). 4. 6 平 7(1995). 6. 1 平 9(1997). 3.20 平12(2000). 12.12 平16(2004). 4. 5 平18(2006). 3.17 昭59(1984). 6.27 昭61(1986). 3.24 平 9(1997). 4. 4 平13(2001). 11.19 平17(2005). 10.28 昭58(1983). 6.14 平 8(1996). 6.14 平 9(1997). 4. 7 平 9(1997). 3.24 平18(2006). 5.16 平 9(1997). 1.30 (34ヶ国・地域) 138機関 (21ヶ国・地域) 54機関	

(注)締結部局名に芸術工とあるのは、九州芸術工科大学が締結した交流協定のうち、部局間交流協定として引き継ぐもの

世界韓国研究 コンソーシアム協定	ソウル大学校国際大学院韓国研究センター、高麗大学校民族文化研究院、UCLA韓国研究学研究所、ハワイ大学韓国研究学研究所、オーストラリア国立大学韓国研究センター、北京大学韓国研究センター、復旦大学韓国研究センター、延世大学校国学研究所、ハーバード大学韓国学研究所、ロンドン大学SOAS韓国学センター、ブリティッシュ・コロンビア大学韓国研究センター	韓七	平18(2006).10.10
---------------------	--	----	-----------------

### ■学生交流協定(コレージュ・ドクトラル(日仏共同博士課程))

(平成19年5月1日現在)

国名等	大学等	締結年月日
ヨーロッパ フランス	コレージュ・ドクトラル加盟機関	平14(2002). 9.13

備考: コンソーシアム形式の学生交流(仏国側加盟: 53機関、日本側加盟: 29機関)

- 歴代総長／運営組織
- 役員等／経営協議会委員
- 教育研究評議会評議員
- 沿革
- 学府・研究院制度について
- 大学の組織
- 部局長等
- 教育研究組織
- 学生定員及び在籍学生数
- 入学状況
- 学位取得者数等
- 学部卒業・大学院修了後の状況
- 教職員等
- 社会との連携
- 国際交流
- 収入・支出
- 土地・建物
- 伊都キャンパス
- 建物配置図及び部局所在地
- 諸施設
- 案内図







## ■土地・建物

(平成19年4月1日現在)

区分	土地 (m <sup>2</sup> )	建物 (m <sup>2</sup> )		備考
		建面積	延面積	
箱崎地区	455,312	15,690	37,897	留学生センターを含む
		4,674	16,952	保存図書館を含む
		11,912	31,688	
		11,053	34,151	
		35,303	95,824	情報基盤研究開発センターを含む
		16,698	44,550	健康科学センター(箱崎分室)を含む
		5,730	17,631	旧研究所、学生寮、学生集会所、宿舎等
		455,312	101,060	278,693
病院地区	313,745	83,518	334,119	医・歯・薬学部・学府・研究院、生体防御医学研究所 九州大学病院
六本松地区	88,684	15,983	46,865	比較社会文化学府・研究院、言語文化研究院、 高等教育開発推進センター
筑紫地区	257,177	31,556	80,923	総合理工学府・研究院、応用力学研究所、 先導物質化学研究所、健康科学センター
大橋地区	63,058	14,830	46,891	芸術工学部・学府・研究院、井戸宿舎、弥永宿舎
伊都地区	1,440,231	46,467	153,881	伊都キャンパス
別府地区	100,217	7,772	17,501	生体防御医学研究所、九州大学病院、 宿舎等
計	2,718,424	301,186	958,873	
その他	農学部附属農場	396,670	10,324	10,875 高原農業実験実習場を含む
	福岡演習林	4,814,401	2,561	3,541
	早良実習場	324,911	87	87
	宮崎演習林	29,161,887	1,223	1,748 人吉試験地及び宿舎を含む
	北海道演習林	37,151,741	985	1,466 北海道演習林宿舎を含む
	その他	275,450	17,449	50,293
	合 計	74,843,484	333,815	1,026,883

歴代総長/  
運営組織役員等/  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度に  
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学部取得  
者数等学部卒業、  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図

## 伊都地区

## ■工学系地区

工学研究院 工学府 工学部 システム情報科学研究院  
 システム情報科学府 先導物質化学研究所 超伝導システム科学研究センター  
 水素利用技術研究センター 未来化学創造センター 理系図書館I

〒819-0395 福岡市西区大字元岡744番地

〒819-0395は、九州大学伊都地区専用の郵便番号ですので、  
 差出郵便物の所在地の記載を省略できます。

## ■Big orange(ビッグオレンジ)

TEL 092-802-2300

郵便番号及び住所は上記と同じ。



## 移転スケジュール

時 期	第Iステージ 平成17年度～平成19年度	第IIステージ 平成20年度～平成23年度	第IIIステージ 平成24年度～平成31年度
伊都キャンパスへの 移 転	第Iステージ 平成17年度～平成19年度 工学系Ⅰ,Ⅱ 理系図書館Ⅰ  【約4.3千人】	第IIステージ 平成20年度～平成23年度 全学教育, 比較社会文化, 言語文化, 理系図書館Ⅱ 高等教育開発推進センター 他  【約4.6千人】 基幹整備及び 新手法による整備	第IIIステージ 平成24年度～平成31年度 理学系(H26) 情報基盤研究開発センター(H27) 中央図書館(H29) 文系(H29,H30) 農学系(H31) その他(H31)  【約6.7千人】

(用地再取得平成25年度完了) →

歴代総長/  
運営組織

役員等/  
経営協議会  
委員

教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
制度について

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織

学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等

学部卒業・  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

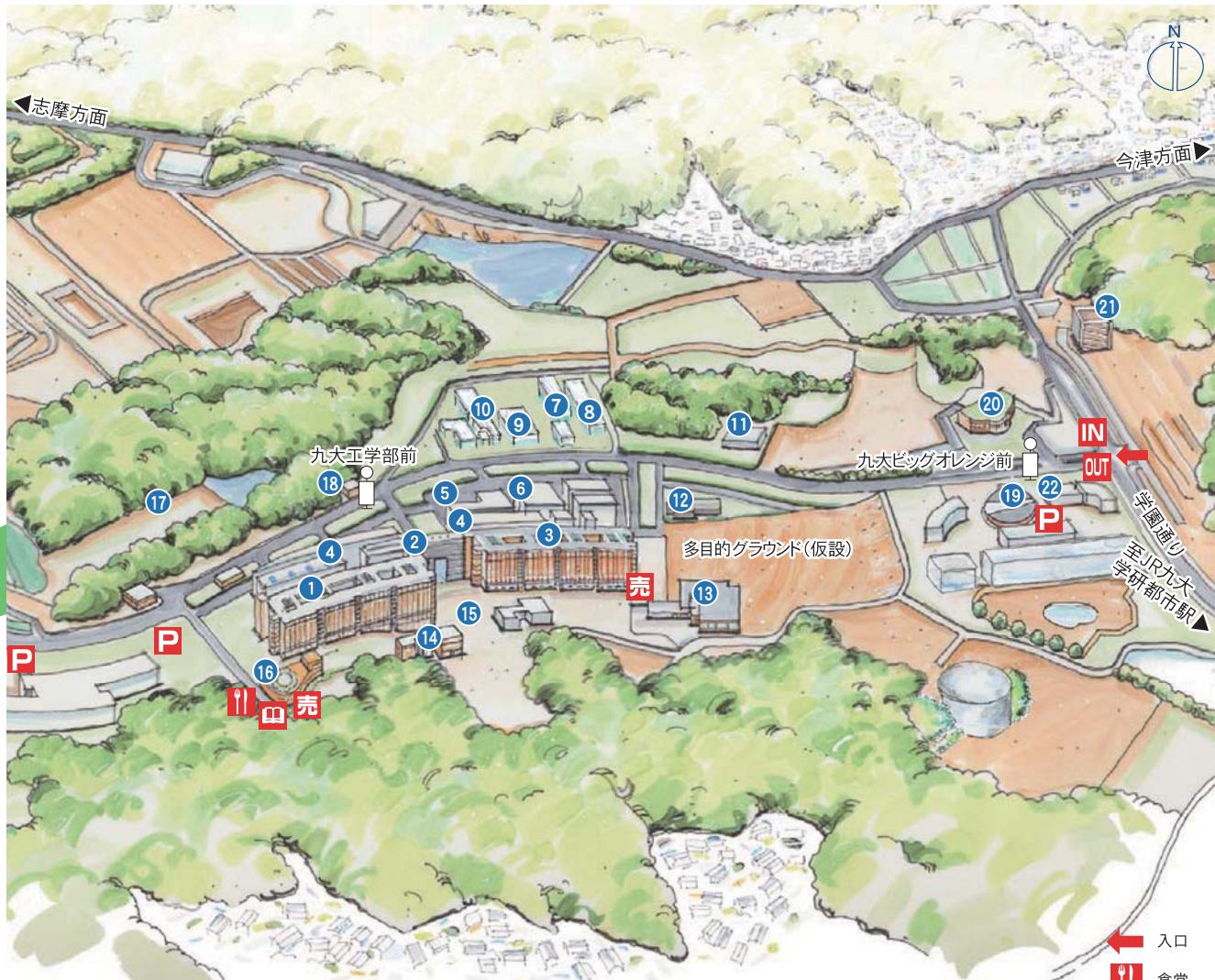
土地・建物

伊都  
キャンパス

建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図



- ① ウエスト4号館
- ② ウエスト3号館
- ③ ウエスト2号館
- ④ 工学系実験施設群
- ⑤ 水素ステーション
- ⑥ 水素利用技術研究センター
- ⑦ 超高压電子顕微鏡棟
- ⑧ 先導物質化学研究所

- ⑨ 環境システム科学研究中心
- ⑩ 超伝導システム科学研究中心
- ⑪ エネルギーセンター
- ⑫ 学生支援施設
- ⑬ 理系図書館
- ⑭ 西講義棟
- ⑮ 石のアート QIAO(チャオ)
- ⑯ ビッグどら(食堂・売店・本屋)

- ⑯ 生物多様性保全ゾーン
- ⑰ あかでみづくらんたん
- ⑱ ビッグオレンジ(情報発信拠点)
- ⑲ 給水センター
- ⑳ ドミトリーI(学生寄宿舎)
- ㉑ 守衛所



### ウェスト3、4号館

- ◆工学府(教育組織)／物質創造工学、物質プロセス工学、材料物性工学、化学システム工学、機械科学、知能機械システム、航空宇宙工学、建設システム工学、都市環境システム工学、海洋システム工学、地球資源システム工学、エネルギー量子工学
- ◆工学研究院(研究組織)／化学工学、応用化学、材料工学、機械科学、知能機械システム、航空宇宙工学、建築デザイン、環境都市、海洋システム工学、エネルギー量子工学
- ◆工学部(教育研究組織)／物質科学工学、機械航空工学、地球環境工学、エネルギー科学
- ◆西部地区自然灾害資料センター

### ウェスト2号館

- ◆工学府(教育組織)／建設システム工学、都市環境システム工学、海洋システム工学、地球資源システム工学、エネルギー量子工学
- ◆工学研究院(研究組織)／建設デザイン、環境都市、海洋システム工学、地球資源システム工学、エネルギー量子工学
- ◆工学部(教育研究組織)／電気情報工学、地球環境工学、エネルギー科学
- ◆システム情報科学府(教育組織)／情報理学、知能システム学、情報工学、電気電子システム工学、電子デバイス工学
- ◆システム情報科学研究院(研究組織)／情報理学、知能システム学、情報工学、電気電子システム工学、電子デバイス工学、超電導科学

歴代総長／運営組織
役員等／経営協議会委員
教育研究評議会議員
沿革
学府・研究院制度について
大学の組織
部局長等
教育研究組織
学生定員及び在籍学生数
入学状況
学位取得者等
学部卒業・大学院修了後の状況
教職員等
社会との連携
国際交流
収入・支出
土地・建物
伊都キャンパス
建物配置図及び部局所在地
諸施設
案内図

## 箱崎地区

## 理系地区

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 本部(事務局)      | 留学生センター           |
| 附属図書館        | 総合研究博物館           |
| 理学府          | システムLSI研究センター     |
| 数理解学府        | 宇宙環境研究センター        |
| システム生命科学府    | 韓国研究センター          |
| 生物資源環境科学府    | 超高压電子顕微鏡室         |
| 理学研究院        | 特殊廃液処理施設          |
| 数理解学研究院      | 大学文書館             |
| 農学研究院        | ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー |
| 理学部          | アドミッションセンター       |
| 農学部          | バイオアーキテクチャーセンター   |
| 情報基盤研究開発センター | アジア総合政策センター       |
| 生物環境調節センター   | 低温センター            |
| 熱帯農学研究センター   | 産業技術数理研究センター      |
| アイントーフ総合センター | 健康科学センター箱崎分室      |
|              | 言語文化研究院箱崎分室       |

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10-1 TEL092-642-2111(番号案内)  
〒812-8581は、九州大学箱崎地区専用の郵便番号ですので、差出郵便物の所在地の記載を省略できます。

## 理系地区

- ⑯ 弓道場
- ⑰ 箱崎地区プール
- ⑱ 工学部テニスコート
- ⑲ 創造パビリオン
- ⑳ ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
- ㉑ 総合研究博物館
- ㉒ 超伝導システム科学研究センター
- ㉓ システムLSI研究センター
- ㉔ 保存図書館
- ㉕ アドミッションセンター
- ㉖ 大学文書館
- ㉗ 工学研究院附属環境システム科学研究センター
- ㉘ 言語文化研究院箱崎分室
- ㉙ 先導物質化学研究所
- ㉚ 附属図書館記録資料館産業経済資料部門
- ㉛ ユーザーサイエンス機構(USI)
- ㉜ キャリア支援センター
- ㉝ 本部事務局(本部第一庁舎)
- ㉞ 本部事務局(本部第二庁舎)

## 理系地区

- ㉟ 西部地区自然災害資料センター
- ㉟ 創立五十周年記念講堂
- ㉟ ファカルティクラブ
- ㉟ 地蔵森・工学部創立75周年記念庭園
- ㉟ 箱崎理系地区21世紀交流プラザ
- ㉟ 量子線照射分析実験施設
- ㉟ 情報統括本部(情報基盤研究開発センター)
- ㉟ 超高压電子顕微鏡室
- ㉟ 特殊廃液処理施設
- ㉟ 学際教育・研究交流棟リセウム悠遠
- ㉟ アイントーフ総合センター

## 工学系地区

- ㉛ 建築学(人間環境学府・人間環境学研究院(都市・建築学部門))

## 伊都キャンパスへ移転

## 工学系地区

- ㉜ 工学府・工学研究院・工学部
- ㉝ 工学部本館(建設デザイン部門、環境都市部門、エネルギー量子工学部門、数理解学府・数理解学研究院(数学部門、数理科学部門))
- ㉞ 工学部二号館
- ㉟ 工学部三号館(地球資源システム工学部門)
- ㉛ 工学部四号館(環境都市部門、建設デザイン部門)
- ㉜ 工学部五号館(海洋システム工学部門、航空宇宙工学部門)
- ㉝ 応用化学(機能)
- ㉞ 応用化学(分子)
- ㉟ 航空工学
- ㉟ エネルギー量子工学(エネルギー量子工学部門)
- ㉟ システム情報科学府・システム情報科学研究院(知能システム学部門、情報工学部門、電気電子システム工学部門、電子デバイス工学部門)

## 理系地区

- ㉟ 理学部三号館

(システム情報科学府・システム情報科学研究院・情報理学部門)



歴代総長／  
運営組織役員等／  
経営協議会  
委員

教育研究評議会議員

沿革

学府・研究  
院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等学部卒業、  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図

## 文系地区

- ① 人文科学府・人文科学研究院・文学部  
人間環境学府・人間環境学研究院・教育学部
- ② 法学府・法務学府(法科大学院)・法学研究院・法学部
- ③ 経済学府・経済学研究院・経済学部  
産業マネジメント専攻(ビジネス・スクール)
- ④ 文・教育・人環研究棟
- ⑤ 箱崎文系地区21世紀交流プラザ
- ⑥ 人間環境学府附属総合臨床心理センター・臨床心理実習棟
- ⑦ 中央体育館
- ⑧ 野球場
- ⑨ 総合グラウンド
- ⑩ 貝塚テニスコート
- ⑪ 講義・活動用施設
- ⑫ トレーニング室
- ⑬ 洋弓場
- ⑭ 庭園
- ⑮ 法科学院講義棟
- ⑯ 就職情報室

## ■文系地区

人文科学府	経済学府	法学研究院	教育学部
人間環境学府	人文科学研究院	経済学研究院	法学部
法学府	人間環境学研究院	文学部	経済学部
法務学府(法科大学院)			

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目19-1 TEL092-642-2111(番号案内)

〒812-8581は、九州大学箱崎地区専用の郵便番号ですので、差出郵便物の所在地の記載を省略できます。



## 理系地区

- ⑯ 附属図書館
- ⑰ 生物資源環境科学府・農学研究院・農学部
- ⑱ 農学部一号館(生物資源開発管理学部門、植物資源科学部門、生物機能科学部門、動物資源科学部門、農業資源経済学部門)
- ⑲ 農学部二号館(生産環境科学部門、森林資源科学部門)
- ⑳ 農学部三号館(生物機能科学部門、動物資源科学部門、森林資源科学部門)
- ㉑ 農学部四号館(生物機能科学部門)
- ㉒ 農学部五号館(生物資源開発管理部門、植物資源科学部門、生物機能科学部門、遺伝子資源工学部門)
- ㉓ 農学部六号館(生物資源開発管理学部門、遺伝子資源工学部門)
- ㉔ 農学部七号館(生物資源開発管理学部門、植物資源科学部門、生物機能科学部門、動物資源科学部門、生産環境科学部門、森林資源科学部門)
- ㉕ バイオアーキテクチャーセンター
- ㉖ 生物環境調節センター
- ㉗ 热帯農学研究センター
- ㉘ 農学部テニスコート
- ㉙ 韓国研究センター・アジア総合政策センター
- ㉚ 健康科学センター箱崎分室
- ㉛ 留学生センター
- ㉜ 国際ホール
- ㉞ 國際交流部・国際交流推進室・海外大学プランチオフィス
- ㉞ システム生命科学府
- ㉞ 箱崎理系地区21世紀交流プラザ II
- ㉞ 留学生センター分室

## 理系地区

- ㉚ 理学府・理学研究院・理学部
- ㉛ 理学部本館(地球惑星科学部門、生物科学部門、数理学府・数理学研究院)
- ㉜ 理学部二号館(物理学部門、化学部門、地球惑星科学部門)
- ㉞ 理学部三号館(生物科学部門、数理学府・数理学研究院)
- ㉞ 理学部四号館(数理学府・数理学研究院・理学部)
- ㉞ 数理学府・数理学研究院
- ㉞ 宇宙環境研究センター
- ㉞ 低温センター

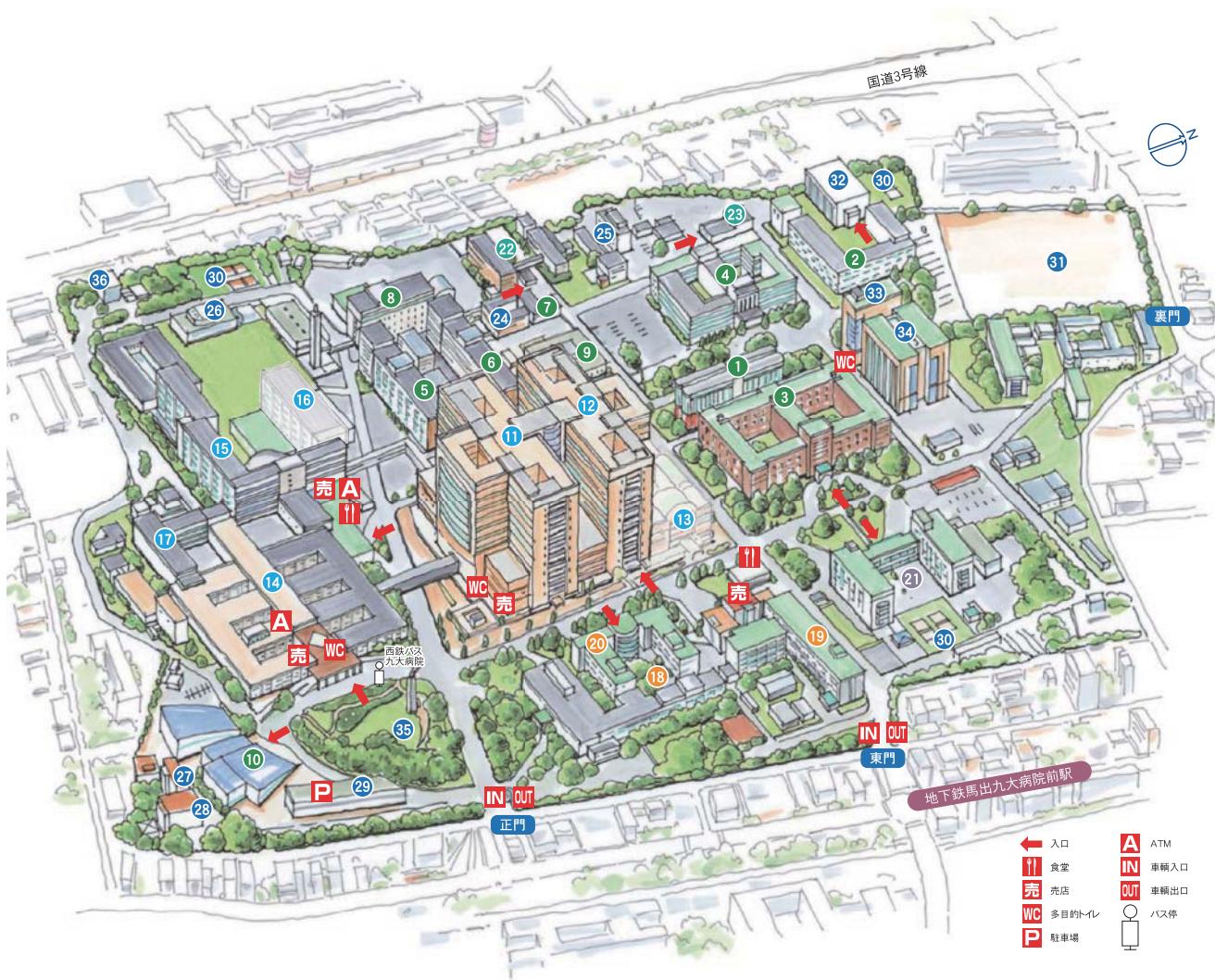
# 建物配置図及び部局所在地

## 病院地区

医学系学府 医学研究院 医学部 生体防御医学研究所  
歯学府 歯学研究院 歯学部 医学部・歯学部・生体防御医学研究所附属病院(九州大学病院)  
薬学府 薬学研究院 薬学部

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1 TEL092-641-1151(代表)

※ 〒812-8582は、九州大学病院地区専用の郵便番号ですので、差出郵便物の所在地の記載を省略できます。



- ① 総合研究棟
- ② 医学部保健学科本館
- ③ 医学部基礎研究A棟
- ④ 医学部基礎研究B棟
- ⑤ 医学部臨床研究棟A棟
- ⑥ 医学部臨床研究棟B棟
- ⑦ 医学系学府医療経営管理学専攻・  
生体防御医学研究所附属感染防御研究センター
- ⑧ 医学研究院附属動物実験施設
- ⑨ 附属図書館医学分館
- ⑩ 医学部百年講堂

- ⑪ 九州大学病院南棟
- ⑫ 九州大学病院北棟
- ⑬ 九州大学病院外来診療棟 (建設中)
- ⑭ 九州大学病院外来診療棟・中央診療棟
- ⑮ 九州大学病院中央病棟
- ⑯ 九州大学病院 (改修工事中)  
(精神科病棟・総合教育研究施設)
- ⑰ 九州大学病院西病棟

- ⑱ 歯学府・歯学研究院・歯学部
- ⑲ 歯学研究院棟本館
- ⑳ 歯学部臨床研究棟
- ㉑ 薬学府・薬学研究院・薬学部
- ㉒ 生体防御医学研究所
- ㉓ 生体防御医学研究所附属遺伝情報実験センター

- ㉔ 医療系統合教育研究センター
- ㉕ アイトープ総合センター病院地区実験室
- ㉖ コージェネ棟
- ㉗ 外国人研究員等宿泊施設
- ㉘ 同窓会館
- ㉙ 外来用駐車場
- ㉚ テニスコート
- ㉛ 運動場
- ㉜ 体育館
- ㉝ コラボ・ステーション I
- ㉞ コラボ・ステーション II
- ㉞ 医学部創立75周年記念庭園
- ㉞ 納骨壇

歴代総長/  
運営組織

役員等/  
経営協議会  
委員

教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度に  
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織

学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等

学部卒業・  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス

建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図

## 筑紫地区

総合理工学府  
総合理工学研究院  
応用力学研究所

先導物質化学研究所  
健康科学センター  
中央分析センター

産学連携センター  
電離気体実験施設

〒816-8580 春日市春日公園6丁目1番地 TEL092-583-7555(番号案内)  
※ 〒816-8580は、九州大学筑紫地区専用の郵便番号ですので、差出郵便物の所在地の記載を省略できます。

歴代総長/  
運営組織役員等/  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度に  
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等学部卒業、  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

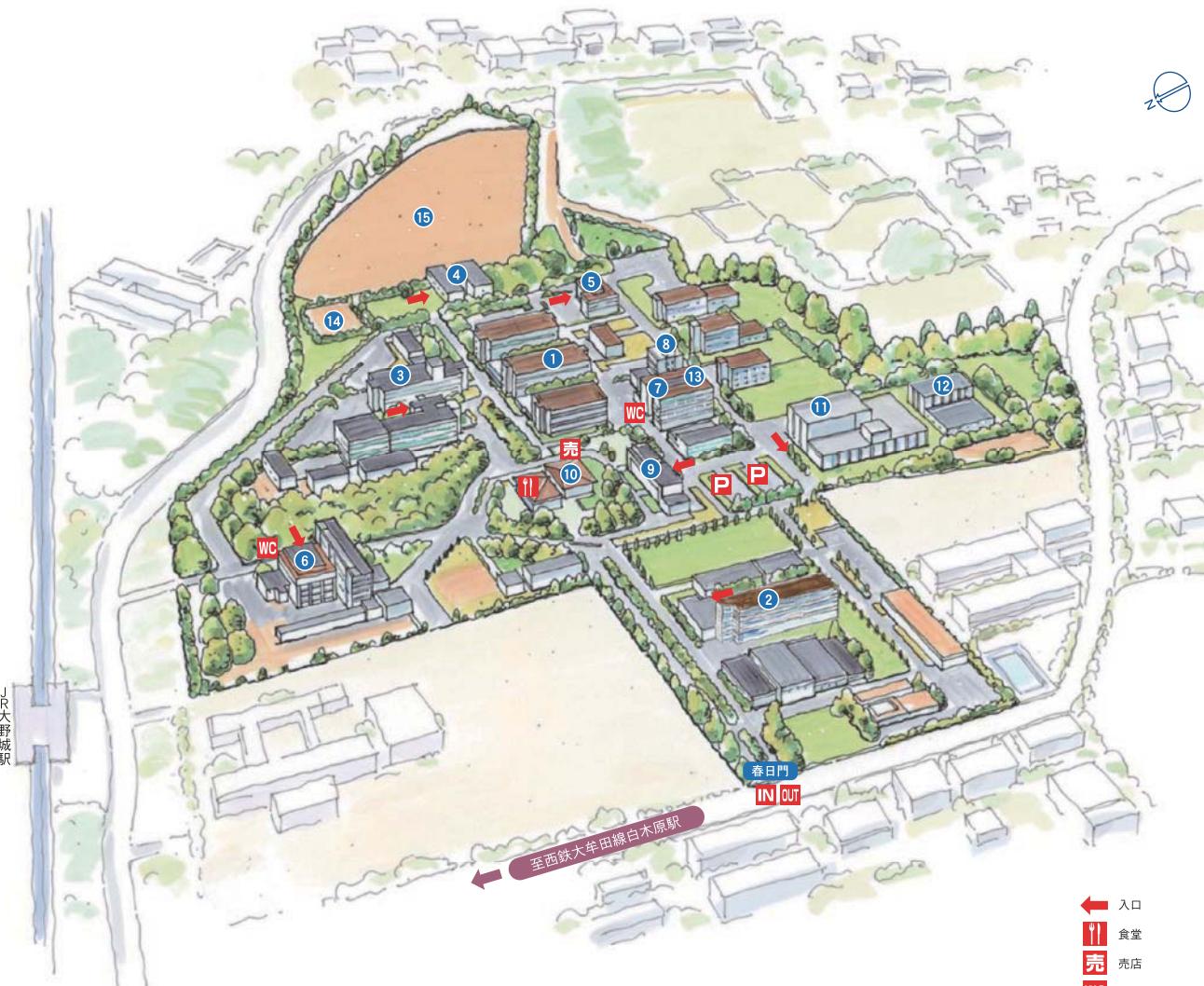
収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図



- ① 総合理工学府・総合理工学研究院
- ② 応用力学研究所
- ③ 先導物質化学研究所
- ④ 健康科学センター
- ⑤ 中央分析センター
- ⑥ 産学連携センター
- ⑦ 附属図書館筑紫分館
- ⑧ 電離気体実験施設
- ⑨ 共通管理棟
- ⑩ 福利厚生施設
- ⑪ 高温プラズマ実験棟
- ⑫ 電源棟
- ⑬ 総合研究棟(C-CUBE)
- ⑭ テニスコート
- ⑮ 運動場

## 六本松地区

比較社会文化学府 比較社会文化研究院 言語文化研究院 高等教育開発推進センター

〒810-8560 福岡市中央区六本松4丁目2-1 TEL092-726-4555(番号案内)

※〒810-8560は、九州大学六本松地区専用の郵便番号ですので、差出郵便物の所在地の記載を省略できます。

歴代総長/  
運営組織役員等/  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度に  
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等学部卒業・  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

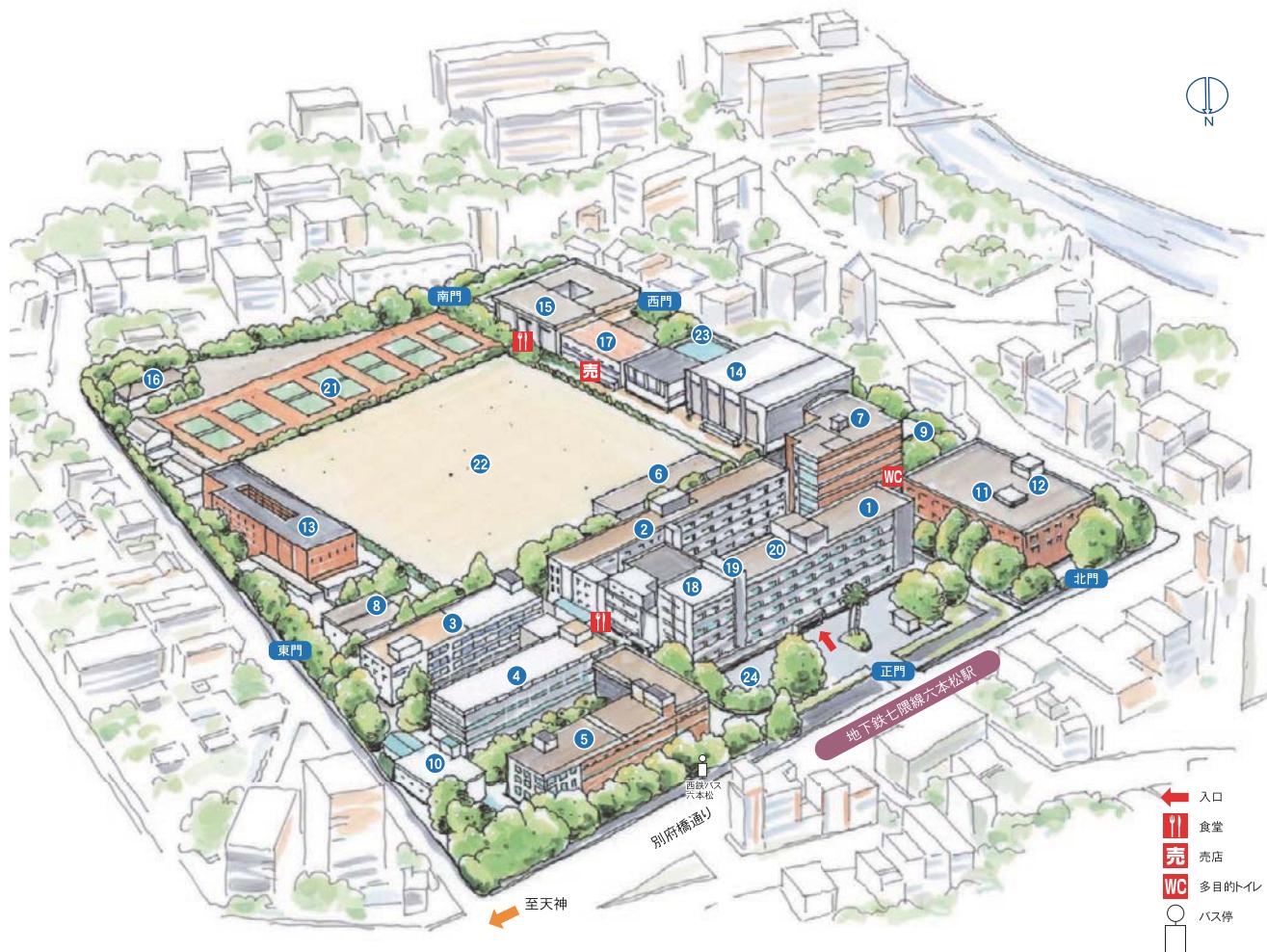
収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図



- ① 本館
- ② 一号館
- ③ 二号館
- ④ 三号館
- ⑤ 四号館
- ⑥ 五号館
- ⑦ 新一号館
- ⑧ 新四号館
- ⑨ 大学院棟
- ⑩ 21世紀交流プラザ
- ⑪ 附属図書館六本松分館
- ⑫ 情報基盤研究開発センター六本松分室

- ⑬ 課外活動共用施設
- ⑭ 体育館・武道場
- ⑮ 学生会館
- ⑯ 学生集会所(亭々舎)
- ⑰ 学生厚生センター
- ⑱ 学生生活・修学相談室
- ⑲ 健康科学センター健康相談室
- ⑳ ブラウジングルーム
- ㉑ テニスコート
- ㉒ 運動場
- ㉓ プール
- ㉔ 青陵の泉

## 大橋地区

芸術工学府 芸術工学研究院 芸術工学部 感性融合創造センター

〒815-8540 福岡市南区塩原4丁目9番1号 TEL092-553-4400(番号案内)



- ① 事務部
- ② 多次元デザイン実験棟(講堂)
- ③ 情報基盤研究開発センター大橋分室
- ④ 附属図書館芸術工学分館
- ⑤ 8号館
- ⑥ 産学連携センター  
デザイン総合部門
- ⑦ 7号館
- ⑧ 6号館
- ⑨ 5号館
- ⑩ 厚生施設棟  
(食堂・壳店・健康科学センター大橋分室)
- ⑪ 4号館
- ⑫ 2号館

- ⑬ 画像特殊棟
- ⑭ 音響特殊棟
- ⑮ 3号館
- ⑯ 1号館
- ⑰ 工作工房
- ⑱ 環境実験棟
- ⑲ 印刷実験棟
- ⑳ 総合研究棟
- ㉑ 環境適応研究実験施設
- ㉒ 設備棟
- ㉓ 車庫
- ㉔ 守衛所
- ㉕ サークル共用施設
- ㉖ 体育館
- ㉗ 運動場

歴代総長/  
運営組織役員等/  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者等学部卒業、  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図

歴代総長/  
運営組織役員等/  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度に  
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等学部卒業・  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図

## 別府地区

九州大学生体防御医学研究所 九州大学病院別府先進医療センター

〒874-0838 大分県別府市大字鶴見字鶴見原4546 TEL0977-27-1600(代表)



- ① 外来診療棟(1階/事務室 2階/外来受付)
- ② 中央診療棟
- ③ 病棟
- ④ 理療棟
- ⑤ 研究棟
- ⑥ 視聴覚ホール
- ⑦ 図書室
- ⑧ 動物実験室
- ⑨ RI管理区域
- ⑩ 高エネルギー放射線治療棟
- ⑪ 看護師宿舎
- ⑫ 薫幸寮
- ⑬ MR検査室

- |  |      |
|--|------|
|  | 入口   |
|  | 食堂   |
|  | 売店   |
|  | 駐車場  |
|  | ATM  |
|  | 車輛入口 |
|  | 車輛出口 |
|  | バス停  |

## ■ その他の地区の部局等所在地

部局等	所在地	電話番号
農学研究院附属遺伝子資源開発研究センター	〒812-0061 福岡市東区筥松4-17-1	☎092-621-4991
国際交流会館 留学生会館 井尻留学生会館	〒813-0016 福岡市東区香椎浜4-5-7	☎092-681-3061
	〒811-1302 福岡市南区井尻2-36-40	☎092-573-4946
西新プラザ	〒814-0002 福岡市早良区西新2-16-23	☎092-831-8104
農学部附属演習林(早良実習場)	〒819-0055 福岡市西区生の松原1-23-2	☎092-881-0216
農学部附属農場	〒811-2307 福岡県粕屋郡粕屋町大字原町111	☎092-612-2862
農学部附属演習林(福岡演習林)	〒811-2415 福岡県粕屋郡篠栗町津波黒394	☎092-948-3101
薬学府附属薬用植物園	〒811-2415 福岡県粕屋郡篠栗町津波黒394	☎092-947-0089
生物資源環境科学府附属水産実験所	〒811-3304 福岡県福津市津屋崎2506	☎0940-52-0163
理学研究院附属地震火山観測研究センター	〒855-0843 長崎県島原市新山2-5643-29	☎0957-62-6621
理学府附属臨海実験所	〒863-2507 熊本県天草郡苓北町富岡2231	☎0969-35-0003
九重研修所	〒879-4912 大分県玖珠郡九重町大字湯坪字八丁原600-1	☎0973-79-2617
農学部附属農場(高原農業実験実習場)	〒878-0201 大分県竹田市久住町大字久住字4045-4	☎0974-76-1377
農学部附属演習林(宮崎演習林)	〒883-0402 宮崎県東臼杵郡椎葉村大河内949	☎0983-38-1116
農学研究院指宿試験地	〒891-0404 鹿児島県指宿市東方8886	☎0993-22-2471
農学部附属演習林(北海道演習林)	〒089-3705 北海道足寄郡足寄町北5条1-85	☎01562-5-2608
東京オフィス	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-3 丸の内仲通りビル7階713区	☎03-3211-8825
九州大学・芸術工学東京サイト	〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1ミッドタウンタワー5階・デザインハブ内	☎03-3408-9920

## ■ 海外オフィス

部局等	所在地
ロンドン・オフィス	18 Heath Rise Kersfield Road, London SW15 3HF, U. K.
カリフォルニア・オフィス	288 Casitas Bulevar Los Gatos, CA 95032, USA.
ミュンヘン・オフィス	Nikolaiplatz 1a 80802 Muenchen, Germany
ソウル・オフィス	5436-1, Sangdaewon-dong, Jungwon-gu, Sungnam-city, Kyoungki-do, 462-819, Korea
北京事務所	北京市海淀区中關村南大街6号 鑄成大厦(鑄成ビル)20階2008号
バンコク・オフィス	101 Moo 2 Teparak Rd, T. Bangsaothong Ging A.Bangsaothong, Samutprakarn 10540, Thailand
ワシントンD.C.・オフィス	4418 Ellicott Street NW, Washington, D.C. 20016, USA

歴代総長／運営組織

役員等／経営協議会委員

教育研究評議会評議員

沿革

学府・研究院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究組織

学生定員及び在籍学生数

入学状況

学位取得者等

学部卒業・大学院修了後の状況

教職員等

社会との連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都キャンパス

建物配置図及び部局所在地

諸施設

案内図

歴代総長/  
運営組織役員等/  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度に  
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等学部卒業・  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図

## ■教育研究施設

地区	名称	構造	面積	備考
箱崎	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	S3	1,999	研究交流室、資料閲覧室、ゼミナール室、院生研究室、実験室等
	リセウム悠遠	S2	769	コンピュータ室、ゼミ室、研究室、実験室等
	創造パビリオン	S2	546	インキュベータ室、C&C演習室、技術移転推進室、会議室等
病院	コラボステーションⅠ	SRC9	5,123	セミナールーム、講義室、ラウンジ、共同実験室、スタッフルーム、データ解析室、リフレッシュコーナー等
	コラボステーションⅡ	RC7	8,130	コミュニティラウンジ、セミナー室、情報サロン、実験室、研究室等
	総合研究棟(病院地区)	SRC9	12,054	講義室、セミナー室、リフレッシュコーナー、共同研究室、共同実験室等
筑紫	産学連携センター	RC3 RC6	1,999 3,600	レンタルラボ、会議室(大会議室、小会議室)、研修室、ミーティングルーム、情報資料コーナー、交流コーナー、技術相談室、リフレッシュスペース、ラウンジ
	総合研究棟(筑紫地区)	SRC7	8,924	リフレッシュ交流コーナー、実験室、研究室等
大橋	総合研究棟(大橋地区)	RC4-1	1,030	研究室、マルチデジタルデザイン室、多次元キャプチャ室等

## ■21世紀交流プラザ

箱崎	箱崎文系地区 21世紀交流プラザ	S2	641	交流ラウンジ、21世紀プログラム学生控室、共通講義室 ヤングリーダーズプログラム学生学習室、教官室等
	箱崎理系地区 21世紀交流プラザⅠ	S2	595	交流ラウンジ、講義室A・B、ITサロンA・B、 多目的ホール
	箱崎理系地区 21世紀交流プラザⅡ	S2	600	交流ラウンジ、講義室1・2、共通セミナー室等
六本松	六本松地区 21世紀交流プラザ	S2	522	学生学習室、学生控室、チュートリアル室、演習室等

## ■学生会館

六本松	学生会館	R C2	3,644	食堂、会議室、談話室、集会室等
-----	------	------	-------	-----------------

## ■サークル共用施設

箱崎	課外活動共用施設	R C3	2,174	学内サークル練習室等
六本松	課外活動共用施設	S R3	2,181	

## ■学内・学外合宿施設

箱崎	研修センター	RC3	397.8	主に体育系サークル
九重	九州大学九重研修所(山の家)	W1	397	九州大学学生、教職員

## ■九州地区国立大学 九重共同研修所

九重	宿泊棟	RC3	1,166	収容定員80人(宿泊棟) 九州地区国立大学学生、教職員
	体育館	RC1	880	
	研修棟	RC2	704	

## ■課外活動施設

地 区	施 設	内 容
箱崎	中央体育館、陸上競技場、野球場、洋弓場、弓道場、テニスコート16面、プール(25m) 第三学生集会所(三畏閣)、松濤鍛成場、学生各部控室等	
病院	体育館、運動場、弓道場、テニスコート11面、合宿室、サークル共用室等	
六本松	体育館、運動場、弓道場、テニスコート7面、プール(25m)、学生集会所(亭々舎)	
筑紫	運動場、テニスコート4面等	
大橋	体育館、運動場、テニスコート2面、合宿室、サークル共用室等	
伊都	暫定グラウンド、テニスコート4面	
その他	ヨット艇庫(東区西戸崎)、ボート艇庫(東区名島)、馬場(粕屋郡粕屋町)	

## ■学生寄宿舎等

地 区	名 称	構 造	面積(m <sup>2</sup> )	備 考
箱崎	松原寮	RC3.4	4,445	男子300人収容(うち留学生30人)
	貝塚寮	RC4	1,332	女子78人収容(うち留学生8人)
六本松	田島寮	RC4	4,279	男子240人収容(うち留学生36人)
伊都	ドミトリーI	RC10	5,569	男子女子254人収容(うち留学生100人)
香椎	国際交流会館 インターナショナルレジデンス	RC5 RC3.8	6,765 2,405	家族室30、夫婦室30、単身室140 留学生43室、外国人研究者27室
大橋	井尻寮	RC4	2,515	男子110人収容(うち留学生5人)
	井尻留学生会館	RC5	1,633	留学生59室、外国人研究者6室
病院	外国人研究員等宿泊施設	RC5	1,003	家族室2、夫婦室3、単身室14

## ■国際ホール・ 同窓会館

箱崎	国際ホール	RC1	393	大会議室、ロビー、準備室
病院	同窓会館	RC3.1	1,049	大・小会議室、多目的室、附属小講堂

## ■健康科学センター

筑紫	筑紫地区研究棟	RC2	1,606	
箱崎	箱崎地区分室	RC1	325	
病院	病院地区分室	RC3	172	
大橋	大橋地区分室	RC4	299	厚生施設棟の2階一部
伊都	伊都地区分室	SRC10	191	ウエスト4号館3階の一部、ウエスト3号館3階の一部

歴代総長/  
運営組織役員等/  
経営協議会  
委員教育研究評  
議会評議員

沿革

学府・研究  
院制度について

大学の組織

部局長等

教育研究  
組織学生定員  
及び在籍  
学生数

入学状況

学位取得  
者数等学部卒業、  
大学院修了  
後の状況

教職員等

社会との  
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊都  
キャンパス建物配置図  
及び  
部局所在地

諸施設

案内図

